

# 幼兒の教育

第五十二卷 第三號



日本幼稚園協會

3

# フレーベル館の28年度保育用品

No. 41 幼児指導要録  
B5判、4頁、 定価 一部 5円

No. 42 幼児指導要録の趣旨と  
その取扱いについて  
定価 4円

No. 45 保育日誌  
定価 1枚 2円

No. 47 園籍簿  
定価 1枚 2円

No. 48 身体検査票  
定価 1枚 2円

No. 50 園のたより  
A6判28頁 定価 15円

No. 51 つうえんブック  
定価 15円

No. 53 卒園臺帳  
B5判 定価 1枚 2円

No. 55 保育料袋  
定価 1枚 2円

No. 56 保育證書 (A)  
No. 57 同 (B)

AはB4判、BはB5判  
定価 A7円 B5円

No. 58 園児募集ポスター (A)

No. 59 同 (B)

No. 60 同 (C)  
定価 ABC 各20円

No. 72 出席簿 (縦型)  
定価 1枚 2円

No. 74 園のたより用ゴム印  
欠と休をあらたに入れました。  
1組 14ヶ 定価 200円

No. 75 綴込表紙  
B5判 何でも綴り込めます。  
定価 50円

No. 101 出席カード  
表紙裏に、身体検査表と月別出席表  
を入れました。  
A5判13枚(表紙共) 定価 35円

No. 103 出席カード用貼紙  
10人分12ヶ月一箱 定価 200円

No. 111 めりえ (初級)

No. 112 同 (上級)

B5判各16枚 定価 各35円

No. 118 おさいく帳 (B)

No. 119 同 (A)

鼠紙10枚、黒紙2枚  
(B)はB5判 定価 32円  
(A)はA4判 定価 40円

No. 126 自由画帖 (A)

No. 127 同 (B)

No. 128 同 (C)

Cは上質ざら紙30枚  
定価 A35円 B30円 C25円

No. 131 折紙 (特製5寸) 定価50円

No. 132 同 ( // 4寸) 定価40円

No. 133 同 (並製5寸) 定価35円

No. 134 同 ( // 4寸) 定価25円

以上いずれも1色100枚包の値段です。  
色の種類は16色。(並製は15色)

No. 155 まんてんくれよん(12色)  
定価 60円

No. 156 同 (10色) 定価50円

No. 157 同 (8色) 定価40円

No. 158 お道具箱(木製) 定価60円

No. 159 同 (紙製) 定価35円

No. 160 鋏 (先丸鋏) 定価35円

No. 168 たのしいおしごと(No.1)

No. 169 同 (No.2)

定価 各45円

No. 171 組別名札 (縦型)

両面色紙ばり、色の種類は赤、黄、緑、  
白、桃、藤、水色の7色 定価1個2円

発行所 東京都千代田区神田 株式会社  
小川町二丁目五番地

フレーベル館 振替口座東京  
一九六四〇番

# 幼 児 の 教 育

第五十二卷

第三號

昭和二十八年三月

## 目 次

表紙	三岸節子
幼稚園近感	倉橋惣三…(2)
(ヌース)テスト雑感	牛島義友…(6)
希 望 と 計 画 (2)	…(8)
幼児の神経質	村山貞雄…(14)
~~~~~	
ひなまつりとその飾り方	山田徳兵衛…(22)
春の雑草	佐々木尙友…(25)
小鳥を飼ふ楽しみ(1)	高島春雄…(28)
~~~~~	
☆たのしいおしごと☆-(2)-	及川ふみ…(34)
アメリカ童話から(22)	松原至大…(36)
3月の保育	{ 堀合文子…(40)
	{ 鈴木とく…(47)
折にふれて	…(52)

編集主幹 倉橋惣三

協力委員 牛島義友 及川ふみ 斎藤文雄

多田鉄雄 波多野完治 山下俊郎

編集委員 西山浪太郎 (五十音順)

発 行  
日 本 幼 稚 園 協 會



## 幼稚園近感

— 東京都中央区教育会主催保育講演会筆記 —

倉 橋 惣 三

しばらく御無沙汰をしました、みなさんはお交りなく結構です。

私が皆さんに御無沙汰をし出してから、世の中にはいろいろのことがあり、喜び事や、憂いがありました。世の中の事は皆教育に関係があります。そして、すぐに幼稚園の中に入るとまでいなくても、先生の心を動かすと共に保育の心にも影響し、それが教育の上に影響せずにいません。

一番大きなこととして日本が独立国という形をとつたのも最近の事です。独立国でなかつた時分、われわれを残念に思わせた事も沢山ありました。戦争に負けた時、国家の独立性が失われるという事をあまり切実には考えない人もあつたかも知れませんが、いざとなると想像もしないことが多く起りました。被占領国としての資格を失つた時、それをしみく感じしたのでした。

それを幼稚園で小さい幼児らに残念々々、というわけのものでもなかつたでしたが、その間の保育は暗いものでした。

少くも講和が成立し独立国になつてみると真の保育が蘇りました。これからは、本当の日本人の保育ができる事になつたのです。これは保育上、何よりも一番喜ばしい事です。

次には立太子礼、これも独立国の大きな喜びです。そして今度皇太子様が世界を廻られますが、それもまことに目出度いことです。又反対に悲しい事もあります。日常生活はまだ暗いものです。子供にストの話を教える事もないでしょうが、今日の保育はそれと無関係でいられないのです。

これらの事は、幼稚園の外の社会の事なのですが、実は保育の上に大きな出来事でした。

こういういろ／＼な事が、ひし／＼と幼稚園に響いていますが、私達も喜んだり、悲しんだりしてきましたね。

さて、保育の道は永遠であり、不変であると言います。保育の根本は変わるべきではないでしょうが、実は保育は世界と共に動いています。これらを皆さんと話しあうのが幼稚園近感と題した訳です。

我国の教育で、近頃最も論議されているものは、修身科の問題です。新聞にも出ていて御承知と思いますが、終戦後修身科はあまり重きを置かれていませんでした。教科書もなくなる有様でした。それが今日、重大な問題になつて来ています。自然、私共の近感の中の主なこととして考えられてくるのであります。

修身科で狙っているものは道徳です。道徳を養ふ事にあります。そして、道徳性を養ふという事には誰も反対のないことです。また幼稚園としても大切なことであるの言うまでもありません。

何故、今日修身科復活の声が強く言われるようになったかと言ひますと、最近、世の中が非道徳になりました。それが目にあまるからです。今日は道徳頹廢の時代と言つてもよく、これを支えていくものは教育、その始めは幼稚園の道徳教育です。そこで、修身科復活の主旨は幼稚園でも同様ですが、唯問題は、その修身科というものには従来種々の特色がありました。殊に幼稚園としては、よく考えなければならぬ

いところがありました。この機会にいろいろのことが問題にもなつて来ます。すなわち道徳教育をするといふ事には誰も反対はしませんが、修身科を復活するといふ事には実施に於て問題が出るのです。

幼稚園では、如何なる道徳教育をするか。所謂昔の修身科といつたものと同じでよいかどうか。この事はよく考えなくてはなりません。

道徳教育が大事であるという事から、すぐ修身科は大事であると結びつけるのはどうかと思います。昔の修身科の姿の中には、充分批判されなければならぬものがあります。殊に幼稚園においてそうです。従来の修身科に於ては、道徳生活を大層概念化してしました。一つ／＼の子供の生活というよりは、良い事と悪い事、何がいゝか、何が悪いかを、倫理的に論議して、実際の生活は捉えられていなかつた。

子供が「いゝ子になりたい」と言つたところで、それは極めて概念的で、「いゝ子」それで総てが解つてるようにすまされてきました。そして、これはいゝ事、これは悪い事と教え、こゝろいふ風におなりなさいと言う。子供には心身に触れず身につかない事です。

所謂道徳教育には生活に入つてこない事が多々あります。概念といふものは生きていなくてもよい。併し幼児の道徳教育が、それでいゝのでありましようか。

子供に「動物園に動物を見にゆきましよう」と話している先生がありますが「動物」というそのものはないのです。その中に生きているものは一つ／＼の猿や羊です。子供に動物園に行こうと、いうと子供は直ぐ「猿がいる？ 羊がいる？」と尋ねます。子供にとつて「猿」は動物とは無関係ではないが、動物そのものではありません。

漫然と概念的に「いゝ事をしよう」というのも、これと同じ事であると思います。

修身科は道徳を道徳としてあまりに考えてきたから、生きていない弊害がありました。又余りきつちりしているが為、味も悩みも苦しみも、問題もない。いゝ事を今日は四つ、明日は五つするといふ事が道徳ではない。生きた問題に触れていかななくてはなりません。

修身科では徳目を教えます。そうして、今日はこれだけ守つたと云う。こういう概念的、形式的、生きていない事で、ほんとうの生活が済むものでしょうか。生きている事に重きを置く我々はそれでは気が済まないのです。子供の道徳教育は子供の将来本当に生きてゆく道徳生活の源を作る。道徳性の教育は、そうでなければならぬと思います。

我々が道徳の書物として読むものは、大概こういつた動きのないものです。そして面白くない。面白くないと云うのは悪い事をするのを抑えつけるから面白くないのではない、も

つと根本に溯つて、先生は私の生活を少しも察しては呉れない。顔をみれば善を守れ／＼とおつしやる。それだから面白くないのではないのでしょうか。「いたづらをしてはいけません。いつも言っているでしょう」と言うのは子供に対する結論です。いたづらをしている子供を見て、花を取るのはいけない事だが、花を美しいと感じる心に察してやるのが、生きている扱いです。

少し話が飛びますが、道徳の言葉をもつてきて道徳を教えるというのでは、とても道徳教育はできません。幼稚園に於ては、もつと心もちに入るものでなくては。大人や中学生に与える道徳論ではすまないのです。

小説により精神修養ができるといふのも、その中に、人間の心もちが了解されるからです。

このあいだ文楽を聞きました。お染、久松は修身には縁遠いが、久松がお染に恋愛する。お光は修身科の人に云わせるとどういふかも知れないけれども、芸術では人形にいきが通つている。概念的な道徳の教えでないところに動かされる。

幼児教育においても同じで、子供に対する思いやり、これが欠けていては言葉だけです。ラクガキをしてはいけません。が、白い壁にラクガキしてゆく子供の気持を思うと、無理もないという気がする。私は子供と一緒になつてラクガキの一

つもする先生を尊いと思ひます。子供のしている事を叱らないといつては言い過ぎますかな、少くも子供はどんなに嬉しいでしょう。そこらに幼稚園の先生の真の味が出るのではないでしょうか。

修身の先生程「察し」の足りない人はないといつてはいけませんか。子供が寒いといふ、痛いと言ふと、先生は寒くないといふ、痛くないという。処で子供は先生の顔を恨めしうに見、先生のおつしやる事は尤もだが、私の事は解つていて下さらないと、口には出さないが云いたいでしょう。

先づ、始めの段階に於ては、子供の心に、人間の心の通うことを見出してほしいと思ひます。

幼児は驚く程、人の気持を窺する心を持つています。同情と云うことは、相手に共感する（ミットフィーリング）ことです。ところが、修身としてはむづかしい事です。自分をさいて人の為にする事というのでむづかしいことになる。同情の行為はしても、共感の実のない事が多い。寒いねといえば、寒いねと答えてくれる方がどんなに嬉しいでしょう。それでは真の道徳であるまい。殊に幼稚園では同情とか助け合いなどと云ふ難しいところまでいかなくても共感の気持を養つていきた。

そこで幼稚園時代に於ては、人の心の中に相通うことを主にしして、どれだけ自己を犠牲にしたか、ということ余り強

く出さないでもいふのではあるまいか。そうなると道徳の教育になつても、道徳性の教育でなくなることもある。

○○ちゃん傘がなくて濡れるわね、△△ちゃんは、襟巻がないので寒いわね、等々。これさえ気持の中に起れば、自分の傘を貸し、自分の襟巻を貸すという善行までいかになくてもいふのではないかということになる。つまり人間同志の心の通いあうことです。人間的なこゝろを豊かに養うことです。一々の徳目的修身教育はその上のことです。

あまり長くなると、皆さんがお疲れになることに、共感が乏しい訳になりますから、これで終りましょう。

(拍手)

(十二月十二日)



## テスト 雑感

牛島 義友

新入学新入園を控えて、どこでもテストが大問題になつてゐる。入学試験のかわりになる知能検査に合格させたいとの願から、親達は半年も一年も前からテストに関心を持ち、家庭ではテスト問題集を買つてきてやらせてみたり、幼稚園にはやかましくせがんでテストの練習をしてみたり、児童相談所、教育相談所に一度はでかけてみてもらわなくてはといつた調子である。おかげで私達の関係している愛育研究所の教養相談は来訪者が殺到して、むしろ迷惑を感じてゐる。本当の意味の教養相談を受けたい人も、単純な進学相談者のために、後まわしにさせられる状態である。

我が子の能力を、知能検査して科学的に判定してもらい、それによつて子供の教育の事を考えようとするのは大変進歩的な態度である。しかし中には、入学（入園）試験に知能検査をされるから、その準備として模擬試験

のつもりで来る人もあるし、又どうしたらテストの成績がよくなるかと、その練習方法を尋ねる人もある。知能検査の正しい意味を理解する人ならば、練習によつてテスト成績を上げるなどはナンセンスな事だと考えられる筈であるが、世の親たちにはそうでない人が多い。

又採用する側で、知能検査をして優秀な児童をとろうとする態度は一応もつとも様で困つた態度ではなからうか。単純な面接やよいかげんな質問で合格不合格を決めるよりは、知能検査によつた方がより信頼出来る結果が得られよう。特殊な学校が知能検査によつて特殊な子供を集めるのはよい事である。例えば精神薄弱児のための特別な学校で知能検査をして知能指教が七〇以下のものを集めようとするのは当然の事である。特殊な英才教育機関が知能の優秀児童を集めてみるのも悪くはない。しかし普通の幼稚園や小学校で優秀児のみを集めようとする態度はどんなものであろうか。特に附属小学校などで優秀児を集めて安易な教育をしたところで教育の模範にもならないし、非優秀児を配当された普通小学校の教育を困難にするだけである。更にテストの弊害、即ちつまらぬテストの準備に親をほんめいさせてゐる事を思うと、かゝる状態は一日も早く止めてほしいものである。

知能検査は入学後に行つて各児童の能力に応じた教育

指導をした時に本当に教育に役立つし、父兄からも喜ばれるものであろう。入園や入学に客観的なテストをしないとするとならば情実に左右された不公平な入学になるといふ事もよく言われる事である。公平という事を考えるならむしろ完全抽籤法によつた方が公平であらう。今日附屬小学校などで抽籤法などを取入れているのは今迄よりはよりよい方法であらう。

しかし厳密な知能検査や学力検査によらなければ公正な選抜が出来ないと考えるのは教育者としての自信のない考え方ではなからうか。今日教師達は口では、教育とは単なる知識教育ではなく、性格、社会性の育成、人格の陶冶に力を注いでいると言う。この主張に信念を持つて居れば学力以外の社会性や人格の点から受験者を判定してもよい筈である。

私の関係している某幼稚園では、入園希望者を出来れば全部収容して保育してやりたいがそれが出来ぬ場合には保育の必要度によつて採否を決めることにしている。保育の必要度といつてもいろんな事が考えられる。もし保育所であるならば保育所設立の趣旨から生れた保育必要度の軽重が定まつて来よう。即ち母親が職場で働いているもの、或は保育者のいない者のために設立されたものであるから、こういう家庭のものを優先的に保育し

てやればよるしい。しかし普通の幼稚園では家庭生活の補いをなし社会性をつけるのが主な目的であるから、家庭生活だけでは充分社会性がつかないもの或は家庭の教育態度が適当でなく、教育的援助を必要とするものを優先的に入園させることとしてある。かゝるに保育の必要度を厳密に判定する事は容易ではないが、一応客観的生活条件から考える。即ち一人子は社会性をつけるために幼稚園保育を最も必要とする子であり、長子も又これに準じよう。その他長い間隔をおいて生れた末子も問題をもつてゐるし、その他母親のいない家庭なども勿論幼稚園の援助を最大限に必要とするものである。その他外見上はよい家庭環境であつても心理的問題をもつた子も少くなからう。

この保育の必要度によつて選抜するというのの一つの試みではあるが、その他特に私立の学園では、設立の趣旨に従つた独自の教育方針がある筈だし、それに応じた採用方法も、教育的信念と自信をもつて設定する事が出来る筈であらう。このようにしていわゆる知識へんちよりの教育や保育が真の意味の人間教育になるものではないか。幼稚園や小学校時代から知識だとか知能だとかに追いかけられる事から解放された、ほんとうに伸び伸びとした人間性の豊かな教育を望みたい。



希

望

と

計

書

—(2)—

貴園の将来の御希望と、今年の御計画とをお漏らし願いますという本誌からの懇願に対し、お忙しいところ多くの方々御廻答を下され有難うございました。  
(編集部)

御回答をお願いした問題

- 一、我国保育界全体として、又あなたの幼稚園として、希望されている、将来の理想  
(その方向、事項、夢)
- 二、今年度新に着手しようとし、或は前からの帰結として、今実際に計画されていること(具体的に大小いくつでもお挙げ下さい)  
(掲載は御回答順に致しました)

☆ ☆ 静岡桜花幼稚園長

☆ ☆ 林 叔 子 ☆ ☆

一、私の幼稚園として希望している将来の理想

本園は明治四十三年七月一日の創立で、昭和二十年六月二十日戦災によつて一切を焼失

し灰と化しましたが、不思議にも無事に無傷に生きているのからだを、再び日本の幼児のために捧げんと誓つて、昭和二十一年一月十五日戦災地(旧位置)に、さ、やかなバラック建の家を開放して、園舎にあて、復興

し、幾多の困難を克服しつつ、保護者並びに有志者の協力を得て、設置基準を目ざして本年に至りました。しかし、これ迄は物資も資金も不足の折柄とて学校教育法第七章に掲げられた幼稚園の目的と目標を達成するには、実に不十分のものであるので、講和発効の年と私の還暦の意義あるよい年を記念して、学校体系の一環としてのつながりをもつ新らし

幼稚園の望ましい幼稚園教育をなすべく左のような立場から一〇四坪の従来の園舎を取こわし保育室五、便所一を増改築すべく大英断のもとに、至難を切抜けて希望と理想の実現を見ました。

◎よい施設と設備の充実

○保育計画の研究はよくなされているが大切な施設と設備が欠けていると思いません。

よい環境の中に恵まれた生活をさせる事が大切であるという事は誰も知つてゐるが今日の幼稚園の實際に於て、いろくの事情からなかく実現されてゐないので本園をして、生活せんとする幼児達にしつかり、生活の行われるように、よい生活指導に役立つ施設と設備に力をつくしました。尙数年後には一部の改造をする希望をもつて居ります。

◎形式に流れず、もつと実質的にしつかり保育したい。

○園舎は立派に建築されても設備がよく出来ていなければ、如何によい保育計画のもとに、よい保育をしようとして、教師の努力による効果も充分發揮

されません。

○幼児は被影響性、被暗示性に富むもの故よい環境の中に教師の創意とよい工夫を、いつも幼児の生活指導に備え、幼児に正しい理解と態度を与え、豊かな経験生活が行われるようにと折りま

二、今年度新たに着手しようとする。

計画し実現したこと

前述のような決意のもとに「必ずなせば為る」と強く完成目指して遂に小規模ながら左の点に留意して建築しました。

- 一、保育室 五
  - 一、便所 一
- 総坪数一〇四坪

◎留意事項

- 天井を高く中央に防音装置をした。
- 明るく落ついた室に。
- 窓は中窓をつけ換気採光に注意。
- 非常の場合を考慮して入口の磚子戸を二本レールにして、二間全部あくよう

に。

○幅四尺長さ十一間の廊下と幅六尺長さ十三間のコンクリートの場所は日当りよく夏は涼しく冬は暖く幼児の生活に

便利で喜ばれる。

◎各保育室の設備

- 手洗場 etail張り、面とり硝子付、蛇口(シャワー式)

衛生設備

- うがい、手洗い、洗顔、

○鏡(面とり) Ⅱ整容の為

○整理戸棚 Ⅱ各児の用具、教材整理整頓の為(引出し50個付)

○教師用 Ⅱ教師の必需品、教材用具等、戸棚 Ⅱ各組各教師が自分の組の運営を便ならしめる為

○出窓の棚には適当に物を置く

○展示板 Ⅱ季節、年中行事のものを製作で展示する

○緑板 Ⅱ幼児が自由に絵をかき

○拡声器 Ⅱ音の調節が出来、必要なときは止めるようにしてある

○帽子、マント、絵本掛

園児の家庭から非常に喜ばれ感謝されています。幼稚園としても今迄と生れ変わった新しい幼稚園に楽しい生活をしている園児の姿を見て、協力して下さつた園児の家庭に有志者各位に大きな感謝をしています。そして、これから益々大に研究し、幼稚園の真使命達成に努力いたし度祈念して居ります。

『私はこんな幼稚園がほしい』

一、自然に恵まれた幼稚園の庭

—◇雑草園◇—

自然のめぐみほど子どもの性情の上に円満なはたらきを与えるものはないと思う。

都心の雑踏と噪音の中に生活し、幼稚園へ来れば小学校と併用のコンクリートの狭い運動場で遊んでいる幼児達を眺めながら、私はいつも、自然に囲まれた広々とした庭についての望みや夢を描く。

四季折々の風情をそえてくれる木々に囲まれた何百坪かの広い園地、その中には小高い丘もあり、池あり、花壇あり、果樹園もほしいし、野菜畑もほしい。だが、その中でも特に私のほしいものは雑草の生い茂つた雑草園である。

赤まんまが、ままごとあそびの小さいお母さんのおとずれを待つている庭、

とおせみとんぼのかれんな姿も見られようし、秋には、ばつた、こおろぎ、その他

の秋の虫が小さい人たちのよい遊び相手にもなつてくれるでしょうし、冬ともなれば枯草の上に降り積つた雪が、雪だるまや雪投げと、この上もないよろこびを運んでくれるでしょう。

霜柱をふみ、雪どけのぬかるみを長靴でこねあげたあとには、かわい草の芽が、暖い春のおとずれを、無言のうちに知らせてくれるでしょう。

子どもたちを自然の中に抱いてくれる自然に満ちた雑草園、その中で、日の光を浴びて嬉々として遊ぶ子どもたちは、しらすしらすのうちに、豊かな性情を具えた円満な人間に成長していつてくれると思う。

二、豊富な生活の営まれる保育室

自然に囲まれた園地の一角に、自然と調和した色、形、を持った近代的な園舎がある。

その中には、幼児たちが楽しく遊ぶ保育室がある。

この保育室の環境を、自ら選択し、自ら実験し、自ら啓発しつつ科学の世界に処していくのにふさわしい人間の芽生えを養つていくように工夫したいと思う。

玩具を種々揃えておこう。

ラヂオ、蓄音機、時計、幻燈も、幼児が自分たちで自由に操作できるようにしておこう。

豊富に品物の置かれた保育室、幼児たちが何の屈托もなく、自分たちの好む方向にすぐにとびこめる豊かな場所でありたい。そして自ら進んで手を下し、実験し、疑問を抱いて科学的な芽生えの養える設備がほしい。

物ごとを正しく判断し、正しく行動をすることのできる人間をつくるための科学教育の第一歩を、幼稚園の時代からうえつけるよう心掛けた保育室にしたいものである。

三、幼児と遊ぶ、男の先生

はじめて父母の膝下をはなれて、幼稚園という社会の中に入つてくる幼児たちを迎えるのには、幼稚園を、家庭的なふんいきにつけておくことがたいせつである。

幼稚園を一つの家庭とみたととき、家庭に父母、兄、姉、が居るように、幼稚園にも父

は兄に代る男の教諭も居る事が望ましいこと  
だと思ふ。

幼児とともに遊ぶ男の先生そして女に欠け  
た面を補つてくれる男の先生を交えることが  
望ましい。

### 『現在計画している事項』

私の望む幼稚園は、決して現実からかけは  
なれた夢ではないが、私の抱負が、経済的に  
も環境的にも現在の状態の下では殆んど実現

は不可能である。

小学校に併設の狭い環境の中で、せめてそ  
の望みの一部でも果すために、次のようなさ  
さやかなことを計画している。

- 1、運動場の片すみにも、四季絶えず目  
を楽しませてくれる木を一本づつでも植  
えていくこと。
- 2、砂場の上にバラの棚を設けること。
- 3、保育の上にラヂオをどのように利用し  
たらよいかの研究。

☆ 市川市日出学園幼稚園主事

## ☆ 土屋眞砂子 ☆

### 一、将来の幼稚園への念願

一、豊かな経営を以て全国幼児の収容を  
貧弱な宿借りのような経営、手を洗うよう  
な教育から、理想の教育は生れない。教師も  
幼児も大手を振つて生活の出来る独立園舎を  
望む。国庫負担を基礎とした官公立、特志家  
の投資による私立何れでもよい。緑の森、明  
るい家、花園に小鳥の啼く園庭、豊富な遊具  
文化的な保健設備等、幼児の教育の場として

の品格、然も日本の家庭的雰囲気を整えて、  
全国津々浦々の幼児を迎えることの出来るよ  
う施設の増加を希う。

### 二、教育的飛躍を望む

新しい世代を荷う幼児のために、幼児の精  
神衛生に立脚した理想の新教育をと思ふと、  
現今の貧弱な教育組織ではなかく難路であ  
る。一園の教育経営を負う園長や主任の学識  
経験相俟つ教育観の確立を望むと共に、地方

団体には非と指導主事を要望する。以て幼  
稚園教育の眞価を發揮し、幼稚園教育絶対必  
要の世論を高め度い。

### 三、一般社会の幼児の幸福のために

幼稚園教育が義務制化されるまでは未だ程  
遠いことを思うと、私達は各々の幼稚園を通  
してその地域社会の幼児の幸福のために何と  
か研究実施の労をとらねばならないことも目  
下の急務と思う。

### 四、明るい職場の営み

幼稚園の経済経営、教育労働の負担は、何  
といつても若い女教師の力によらねばならな  
い。物的待遇は勿論だが、精神的待遇こそ明  
日の保育への新鮮な大きな原動力だと思ふ。  
そこで明るい和やかなゆき心地よい職場の  
営みを望む。そして教師という職業が結婚条  
件をマイナスにすることのないように、女性  
としての趣味に教養に理解ある厚意と暇とを  
惜しみなく与えて頂きたい。このことは教師  
自身の人間の生長であり、よい教師としての  
条件を必ずプラスにすることと信ずる。

### 二、本園計画実施事項

### 一、保健衛生設備の改善

- 1、便所を水洗式に（本年便所、手洗場、雨具置場等タイルに改造出来た。）
- 2、身体を洗うお室にガス湯の常時供給設備。
- 3、冬季べんとう保温器にガスのとりつけ（一昨年各室ガスの暖房にきりかえた。）
- 4、和室に毛布や枕の備えを倍数に（三才児や腺病質児の随時休息用、現在十人分）

### 二、音楽リズム遊具の拡充

- 幼児用中型ピアノ三台目を購入（リズム楽器共同用、特にハンドカスタは各自もつてゐる。）

### 三、観察の設備

- 1、小鳥や兎の飼育室を園庭の各所に
- 2、幼児の手造りの花園倍加

### 四、三才児の教育に適當な環境研究実施を特に。

### 五、市内各幼稚園との関連、地域社会幼児へ奉仕の問題研究。

### 六、本園児の實際に立脚した教育課程教育方法、環境整備の諸問題集録

を作る。

### 七、母の会々誌発行の實施（会員の投

稿により年三回位の予定）

☆

お茶の水女子大学附属幼稚園長

☆

☆

及川ふみ

☆

### 将来の希望

### 今年度の計画

#### 一、幼稚園の教諭の給与改善

幼児生活の实体調査観察によつて、新らし

#### 一、幼稚園教諭の定員増

い幼児生活指導の面の研究

#### 最低二組三人の定員増を切望

#### 一、幼稚園の施設の増大

☆

佐賀新道幼稚園長

☆

☆

古賀淑子

☆

(一)、我國の幼稚園は創設以來七十五年有余の歴史を経て最近急激に教育関係者は勿論一般社会の関心を深めつゝ、ある有様であつて幼児教育の躍動を覚えることは誠に喜ばしい限りと思ひます

とし諸權威の先生方が明治末期より幼児教育の「婦人と子ども」「幼児の教育」其他幾多の著書等にて示された保育指針の賜に外ならぬと敬服感謝に堪えません。

これは偏に斯道の元老倉橋惣三先生を始め

幼児のより幸福の道を求めてその方向に誤りないやうにと心に念じつつ保育人の総てを

挙げて研究に励んでいる此頃の有様には本当に意を強うするものであります。

かように先輩の示された方向を更に拡充し追求して己まぬ努力の中に幼児教育の将来への希望や理想を夢に描くとき多くの困難な問題を痛感するのは私だけではありません。

想えば独乙のフレールベルがブランケンブルトに一八三七年世界最初の幼稚園を創設し我  
国では明治九年御茶の水女高師に附属幼稚園を開設されたのを最初として幼稚園教育が各地で続けられて来ました。

他方仏国のクリスチーフ、ルマン、マルポーが巴里で一八四四年に十二台の寝台を備えて生後数週間から二三才位までの幼児を収容したのが世界最初の保育所であり、我々では明治三十三年頃東京二葉保育園が設置されたのが我國の古い保育所であると云はれて居ります。

かように幼稚園と保育所とはその起源に遡るとこれらの性格が明確に認識されるのであつて各々の使命と目的の達成のため施設や一日のプログラム等制度の上には各々限界が明かに理解される事と思ひます。

然し幼児の同一年齢に於ける発達段階や児童憲章の趣旨の上から幼児教育を内面的に考

えると、この二つの制度の間には精神的に相通じ相互の協力と研究親睦の交流が益々近密になり保育界は打つて一丸となり幼児の世界を把握して進路を同うする期間があつても、機能の限界は兩者間に歴然としていてこの点を文部省及び教育関係者は教育施設と社会施設との使命について末端の経営者にまでよく徹底させ方法を講じなければ幼稚園の正しい発達を阻害されることを痛切に感じて居ります。他方かくてこそ厚生省の重要な施策としての保育所も一層拡大充実に生きて来ると信じます。尙幼児教育の計画が政治的財政的の方便や便宜主義に左右されないで本質的に良心的な教育及施設内容に於て営まれるよう念願する次第であります。

凡そ幼児期に培われた全人的な成長はやがて立派な國民としての活動の基盤となり更に優秀な國際的平和的な活躍の素地となることを信じて幼児の将来の姿を夢に描きつゝ、保育に励むには先ずこれにたずさわる教職員の資質向上と絶えざる研修こそ第一条件であつて所要の単位修得に勉むることは勿論乍ら幼稚園教師として又保母として肝要な素質が必要であることを強く感じて居ります。

幼児期はどこまでも幼きもののバラダイス

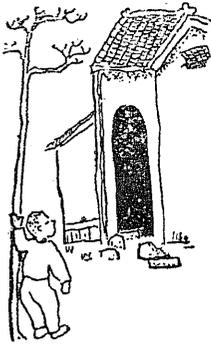
でなければならぬ美しい花園に舞ひ舞う蝶々の様な雰囂気を失はぬよう楽しく遊び育つ時期であり度い。たとえ将来の幼稚園が義務制となつても従来の小学校一年生の単なる切下げとならぬよう呉々も配慮することが大切であります。幼稚園保育所の微笑を夢として。

(二)、当園では今年度に次の事に着手し実現したいと思ひます。

- (1) 園舎改築竣工の資金調達を完成し改築落成式を挙行して保育の精進と感謝の誠を披瀝したいこと
- (2) 教職員の資質向上に努めたいこと
- (3) 幼稚園の保育内容を一層家庭環境に接近した方針を持つと共に小学校への連繋を充分考慮すること。
- (4) P T A 及地域社会への幼児教育の啓蒙
- (5) 事務機構の充実
- (6) 私立学校振興を図り度い。
- (7) 園庭の改造と施設の改善を計る。
- (8) 旧保育室の改造立案

# 幼児の神経質

村山貞雄



## 序

幼稚園保育の重要な仕事として、(1)社会性を円満化し、且つ就学が円滑におこなえるようにすること、(2)音楽教育などの、いわゆる芸能教育をこの時期におこなうこと、などとならんで、(3)精神衛生を中心とした性格教育の問題がある。この性格教育の問題で、わたしたちがもつともしばしばぶつつかるのは、神経質の幼児をなおしたいがどうしたらよいかという質問である。そこで、この問題について、具体的な例をあげながら説明していこう。

### 【例の一】 潔癖

富田福子 満五才七ヶ月

知能年齢七才〇ヶ月 ひとりり

福子は、現在或るキリスト教幼稚園の二年保育児であるが、母親が福子の神経質なのを心配して相談にやつてきた。

福子は、一見して変つたような食物は、絶対に手をつけようとしない。食べてみると、そうでないものでも、頭から嫌いだと決めてかかつて食べようとしないのである

また服装や身のまわりのことにたいしてもちよつと汚れたものをも非常に気にして、着物が少し汚れてもとりかえてくれとせがむ。彼女は家庭では「やかましいから黙りなさい」と時折叱られるほど、よくしゃべるが、人中にでると圧倒されてものが言えない。母親にたいしても自分の言つたことは、それを通してやらないといつまでもしつこく言うので、母親もついにこんまけしてしまふ。

以上が母親の言い分であるが、これは、神経質な性格がとくに食物と衣類にあらわれている例である。

食物にたいして神経質になるのは、(1)身体の虚弱、とくに変なものを食べて病気になるつたあとや、常時胃腸の弱い場合、(2)においや食物の原形(たとえば豚肉にたいする豚)を連想して悪感を感じる程度が強い場合、(3)あまり食欲がなく、また味にたいする好き嫌いのはげしい場合などがあるが福子は、身体も強く、食欲もある。

そこで、母親の日頃のしつけ方をきいてみると、清潔のしつけがかなりきびしく、

着物がちよつとよこれでもやかましく注意しており、アイスキャンデーなどでも、よごれているから口にしてはいけないと始終小言を言っているそうである。要するに母親が神経質であり、とくに食物や衣類にたいして清潔ということを強調しすぎるのが原因の一つであると考えられる。

福子は、ひとり子であるが、ひとり子によくあるように、相当わがままに育つていくことが、福子が自分の言つたことが通らないときにいつまでも我を通そうとするところからでも知られる。このような、我がままがこうじて、ヒステリックな性格となりそれが食物や衣類にあらわれたと考えられる。

なお、家族の子供のときに食物の好き嫌いがあつたか否かをたずねてみたところ、母親が幼いときにのみ、好き嫌いがあつたということであつた。

以上の結果、福子の教育方針として、今後甘やかさないようにとくに気をつけ、その日常生活を放任してあまり干渉しないこと、食物や衣類にたいして神経質にならぬ

ように、また福子の前でもそのような話をさせぬように、家族自身が気をつけることなるべく家庭から出してよその子供達と遊ばせるようにし、休み中には親類などに連れて行くこと、家族が何でも食べ、且つおいしそうに食べることを、家族がおおらかな性格になるように努力すること、等の注意をしたのであるが、福子の両親はこの指導をよく守り、たとえば親類に連れて行つてそこで福子が何でも食べるようにしつづけた。

この結果、約二年経つた頃再び福子の母親に來てもらつて相談したところによればはじめに述べた心配は全くなくなつたそうである。母親も幼児期に好き嫌いがあり、児童期以後はそれが治つているから、福子自身にもあるいはその傾向があつたのかも知れないが、母親があまり衛生について口やかましかつたり、わがままに育てた場合には、福子のような神経質があらわれるのである。

## 〔例の二〕 心配性

谷崎忠雄 満五才〇ヶ月

知能年齢六才三ヶ月 長男

忠雄は現在或る幼稚園に在園中であるが感受性が非常に強い。たとえば、万寿姫の話をしてきかすと、はらくと涙をこぼす幼稚園の先生からも、お宅のお子様は非常に感受性が強いですとよく言われる。

ねる前に翌日幼稚園に行くための準備をするのはよいが、それを妹や母親が少しでも動かしておけば、大変である。近頃(八月)おぼんは何をするものかとたずね、亡くなつた人をお祭りするものと答えるとその「亡くなる」ということを気にして、「どうして死ぬの」とか「お母さんも死ぬの」とか、「ぼくとつゆ子(妹)じやぼくの方がとし上だから、僕の方が早く死んじやうんだが、そうなつたらどうしようか」などたずねだした。また孤児の里親制度の話をきくと、「お父さんとお母さんが死んだら僕どうしよう」と、非常に心配そうにつぶやき、死んだ人は可愛そうだと朝から晩まで心配している。鶏をしめる話をしたら、またそれを気にして……

忠雄の神経質というのは、大体以上のよ

うに、いわゆる心配性である。このような心配性の原因は後天的に発見することが不可能なことが多い。非常におそろしいことに遭遇したり、継母その他の人にぎやく待たされた幼児が、このような症状を呈するところがなくはないが、それもはつきり原因をつかめることはまれである。すなわち、その多くは素質的なものである。

そこで、彼の近親についてこのような状態がなかつたかをたずねたところ、母の弟（武夫・東大在学中）が子供の時全く同じようであり、祖母は「この子は、武ちゃんと丁度同じだから、よい方に伸びるとよくなるが、悪い方に伸びると心配だ」と心配しているそうである。このように素質的なものが強く考えられる。

生育中の原因については母親にいろいろ質問しても見当らないが、妹（満二才・知能指数一〇九）と兄弟げんかをする、大きい方の忠雄をつい叱るようになり、父親からきびしすぎると言つて母親が時々注意される。そのために忠雄が遠慮するようになるのかも分らぬと母親は言う。しかし、これ位のことでは遠慮するようになるところ

に、むしろ忠雄の素質のあらわれがみえており、母親の育児態度が格別きびしすぎるとも考えられない。

彼は身体は丈夫であるが小さい。しかしこのことも別にこのような性質の直接の原因とは考えられない。

なお忠雄は左利きで、はさみは左で持ちぬりえも右ではほとんどできない。食事のときのサジは右でも出来るという程度でかなり強度の左利きである。そして、食事をおいしそうに食べているときに、家族がなおすようにやかましく言うとき泣き出しそうになつて食事をやめてしまふというから、こういうところにもほんの少しは原因がある。

以上のように、忠雄の神経質は心配性として強くあらわれており、素質以外にはほとんど原因が分らない。したがつて、このような性格を反対に伸気にしようとしても失敗に終るであろう。非常に平凡な方法であるが、恐いことに遭遇しないように環境から保護してやること、つまらぬことに心配事をしてやるようであつたら、早くそ

れを見つけてそれが何でもないことを説明してやり、一つのことにはこだわつて心配することがないようにしてやること、身体を強くすること、ハイキングや旅行などをさせ、また夏休みなどに親類などに連れて行くこと、ひどく叱らぬこと、死後の世界を楽しむものと思わせること、等に注意して指導するのがよい。要するに、指導の根本態度としては、このような性質そのものが悪いのではなく、程度が強すぎたり内容があらぬ方にはしつたりすることが悪いのであるから、この性質そのものを悪いとして子供を非難して、子供に劣等感をおこさせることをつしまなければならぬ。たとえば忠雄は、英語を習っているが、はつきり分つてしまふまでは絶対に言わず、遊びもすつかり分らないうちに、あやふやなまま行動するようなことにはない。この例でも分るように、彼の態度には欠点も含むかわりに美点もつゝんでるのである。知能指数も百二十五であり、よく導けば叔父のようになることは、祖母の言葉のごとく推測される。

以上の指導は、海軍兵学校を出た父親も府立高女を出た母親もよく守つてくれた。

たとえば、普通の本を買つて与えるときにも、その内容を細心に選んだし、劣等感をもたすようなことは一切避けるようにしたその結果一年後に葉書を出して来てもらった時は、幾分よくなつたということであつたが、約二年後には、おとなしい明るい児童として著者の眼にも映じ、母親もこの頃は前のように心配しなくてよいようになつたということであつた。

### 〔例の三〕 固執癖

蚊野良一 満四才三ヶ月

知能年齢五才八ヶ月 長男

良一の指導法についてはじめ相談をうけた理由は、神経質ということではなく、ちよつと變つた理由からであつた。彼は、先日動物園に連れて行かれ、母親が切符を買つているうちにいなくなり、一人で不忍池まで遊びに行つていたというのである。このようなことは先日にはじまつたことではなく、もう二か月ほど前にも三乘病院に連れて行つたところお茶の水の下まで遊びに

行つており、さらに七か月ほど前には父親の出勤のあとを追つて、おとなの足で三十分位かゝる駅まで行つていたことなどが重なつた結果によつてわかつた。ところが著者がいろ／＼たずねているうちに、父親はこの子の変な癖について何気なく話した。すなわち、小さい時からそうであつたから、いつ頃からはつきりは言えないが母親がうつかかりして右足からズボンをはかすと、こちらからはいやだと言つて、どうしても左足からはく癖があつた。満三才頃にはそのことが非常にはつきりしてきた。

そのかわり左を好み、無理をしてもドアの左側を通る。右と同様に四という数字を非常にきらい、三を好み、テスターの話によると、知能検査中(鈴木ビネー式検査第三十三問)で四円という数字を使う問題があつたが、「ぼくは四がきらいで三が好きだから三でしてくれ」と言つて、三にかえて知能検査をしたということであつた。色は赤を好み、青をとてもきらう。たとえばクレオンはまず赤を使い切つてしまふ。著者もそのクレオン箱を見てみたが、昨日買ったところだというのに、もう相当使つて

おり、赤がいちじるしくへり、青は新しくつた。

なお彼は妹をいじめ、悪いおもちゃのみを与える。よその子供に自分のおもちゃを借すことをいやがり、よその子供がおもちゃを持つて帰れば夢中になつて取りかえしに行くが、自分のものと人のものとの区別がはつきりしているという訳ではなく、ただ所有欲が強いだけである。このような点が友達に意地悪と思われるためか、仲間はずれになることが多いという。

以上のことから、彼の神経質はいわゆる固執癖とみられる。この固執癖は児童期以後にはしば／＼みられるが、幼児期にこのような強い固執癖があることは少い。

このような固執癖の強い場合、その原因の多くは素質的なものに求めるより仕方がない。そこで家族についてしらべてみたが似たものを全く認めることができなかった。尤も父親は商業学校を出て現在会社につとめており、母親も商業学校を出てつとめておりと言ひ、母親に少し勝気なところがみられた。母親がゆきにてているの

で、昼間は同居している母の両親が良一を  
みているが、母親が良一を叱ると、祖父母  
がむきになつておこり、親子げんかになり  
かねないということであつたから、母方に  
神経質な素質があるのであろう。

またこのような幼児は精神薄弱児に時折  
みられるが、良一は知能指数百三十三で秀  
才級である。彼の生育史をみると、満二才  
で平仮名が全部読め、二才六か月で平仮名  
と片仮名が全部書けたそうである。現在数  
字は百位まで書け、漢字をおぼえたがつか  
ている。(若干漢字は書ける)知能はこのよ  
うに高いが、普通の子とは少し變つており  
他の子供がしているペーゴマやメンコやチ  
ヤンバラには全く興味なく、仲間に入つて  
行かぬため、大体仲間はずれになつてい  
る性格がかなり内向的である。

なお彼は吃音をもつている。すなわち、  
満二才頃に字をおぼえはじめたが、字をお  
ぼえはじめた頃から急にどもるようになつ  
た。ただし吃音は祖父が子供のときにも、  
ちよつとその気味があつたというから、吃  
音の素質があつたのであろう。

以上、良一は固執癖のほかに放浪癖と吃  
音癖をもち、所有欲が強く、明かに神経質  
であるが、知能が高く、近親に同種の固執  
癖のあるものは見当らない。

ゆえにその指導は難しく、満二才頃には  
すでにこのような固執癖があつたと考えら  
れるから、精神分析による原因治療はかな  
り困難である。そこで、家族の者が大らか  
になり、口論などはしないように(とくに  
良一の前でしないように)して、温いふん  
い気をつくるようにすること、母親がで  
きただけ家において良一の心を安定させること  
嫌いな数字・色・方角を良一の好むもの、  
または快いものと連結するように絶えず努  
力すること、強度の内向性であるから、こ  
れを矯めるように努力し、社会性をつける  
こと、明るい偉人の伝記や英雄伝などをき  
かせ、こせ／＼した小心をなおすこと(彼  
は小心であるが、一方妙に気が大きくてお  
となを驚かすことがある)道に迷つた時の  
ために必ずしつかりした名札をつけること  
放浪の機会を少くし、とくに親類の人が来  
た時などには注意すること、などに気をつ  
けて指導するように指示した。

約一年半後に母親に来てもらつたとこ  
ろ、とくに家族がおゝらかになるように  
し、母親ができるだけ家においてやるように  
気をつけて育てた結果、ほかの点はかなり  
よくなつたが、まだ数字と方角は好悪があ  
るといふことであつたので嫌悪の原因につ  
いて精神分析的な治療をしようと思ひ、子  
供を連れて来るようにと言つておいたが、  
まだ来ない。

### 〔例の四〕ひとり言

川山康夫 満五才七ヶ月

知能年齢八才三ヶ月 第二子長男

康夫は、神経質でひとりごとが多い。と  
くに性的なひとりごとを言う子供として、  
保育所の保育につれて来られた。身体は大  
柄で、見るからに元氣そうな、人の世話を  
よくするいわゆる級長タイプである。

しかし保育の話によると、彼はかなり神  
経質であり、「何々しなさい」というよう  
に命令すると反抗的になる。また友達が粗  
相をしたときに「早く告げましようね」と  
言つと、「わざとしたんじゃないよ」と言

つて弁解してやることが多い。

性的なひとりごとは、母親の妊娠中に、とくにひどかつたそうで、何でもすぐにパントツとか猿股とかいうことに結びつけて、ひとりごとを言っており、今でも何か話をしているときに、「パントツをはかしてしまおう」というように性的な内容にもつてゆくこのようなひとりごとをきいていると、いかにも彼が神経質であるように思われるというのである。要するに、彼の神経質は、「ひとり言」という癖を遺してもつとも強くあらわれている。

著者が康夫と直接会話して観察したところ、少しも神経質にみえない。むしろ知能も高く幼稚園のリーダー園児の親がする。この子供が神経質になるのは、家庭環境が何かに特別の原因はあるのでないかと考えられた。そこで家庭環境についてしらべてみたところ、父親は歯科医をしており、マージャーなど夜ふかしをすることが多い母親はやせて神経質であり、父親と非常に不和であることが分つた。康夫に父親と母親とどちらが好きかときくと、直ちに「お

母ちゃんが好き」と答えた。そして「お父ちゃんはおねぼうだから、お母ちゃんは早くしてお母さんをおこすこともあるなあ」と快活につけ加えている。なお保育所に入つてすぐに「うちのお父ちゃんは、昨日マージャーをしていて、お母ちゃんに叱られたんだよ」と突然言つて、保母を驚かしたそうである。両親の不和は相当なものらしい。

父親の康夫にたいするしつげの態度も圧倒的なものであつた。康夫は父親が戦争から帰つて来たときに生れた。父の康夫にたいする教育は、強制的なやり方が多く、体罰として康夫をよく押入れに入れる。保母が家庭訪問をしたときも、康夫に「早くおじぎしろ」と命令しており、康夫がむつとすると（康夫は命令されたことにたいして反抗的になる性質をもっている。）「こうするんだ」と言つて頭を押さえつけたそうである。そのとき康夫は、保母に「いらつしやい」と言つて坐つて、ひとりぶつぶつ言つていたそうである。なお、母親の兄が非常に奇人であると言われているが、技術的

にすぐれた面があるので、現在はその方面で成功している。

以上のように、康夫が神経質なのは、素質的な面と環境の面に原因が明瞭にあらわれている。素質的な面としては、母親の兄が奇人であること、母親が神経質であること（尤も現在夫と不和のために神経質になつている点もうかがわれた）父親の育児態度からみても分るように、父親も線が細いと思われること、などがあげられる。

一方環境としては、父親が幼児康夫の心理を無視した扱いをすることによつてうつけきした反抗心と、父母の不和、とくに父親が夜遊びをし母親が神経質にそれを非難する生活によつて生じた不安定な感情があげられる。

以上のことから、今後の指導としては、康夫の前で性的なことを言わないこと（尤も母親は性的なことを言つたおぼえもないし、康夫が家庭で性的なひとり言を言うのをきいたこともないと言ふ）両親の不和を解消すること、少くとも子供にたいする義

務としても不和な態度を康夫の前で示さないこと、父親は康夫の行為の結果だけではなくその心理的な動機をみるようにし、できれば今後絶対に叱らぬこと（康夫が妹をいじめるといつて叱られることがよくあるが、その大部分は何の気なしに押ししたものが力が強いために妹がころんだり、妹にそのようなことをしてはいけないよと言つて世話をやいてやつた結果であることが多い）康夫は理論的のものを考えることが好きだから、悪いことをしても頭から叱りつけるような態度でなく、柔く道理を言つてきかせるようにすること、ひとりごとを言うのはみつともないことだからだまつて考えるようにしなさいと教えること、などを注意して指導するようにした。

康夫の母はそれまでも康夫の教育に熱心で教育の二大方針として、絶対にうそをつかぬことと結果だけみて叱らずに動機を考へてやることにしていたが、今後この方針を強めた。（これらのことは、母親が今日行けないがといつて保母に持つて来させた手紙の意見と彼女の育児日記によつて知

られた。育児日記には、康夫がした毎日の質問がこくめいに記載されており、本人の状態としても次のことが記されていた。(1)以前は病気をよくしたがるが、最近はず丈夫、熱があるとうなされて泣く。(2)弟をいじめているようにみえるがよく見ていけるとそうでない。(3)うそをつかれるのをとても嫌う。(4)本が好きである。

父親は保母から相談の結果をきいて自分の態度を改めることを約束した。そして若干その態度を改めた。

その結果一年あまり過ぎた頃に家庭を訪問したところ、ひとりごとは全然言わぬよう、別に神経質には思えないということであつた。尤もこの頃の康夫は外ではばかり遊んであまり家に帰つて来ないさうである。

### 〔例の五〕 不安定

和田礼子 満四才三ヶ月

知能年齢五才〇ヶ月 ひとりり子

礼子は、以前は一つのことを何んでもよくつづけてやり辛棒強かつたが、近頃は注意散漫になり神経質になつた。たとえば、彼女が何かしているとき、音がすると驚い

てパツとその方をむく。一人で遊んでいるときも、母親が誰かと話をはじめると、パツとそのことに注意して、またもとの遊びをする。このように注意が集中しなくなつてから、おしやべりがさかんになりだした。なお、礼子はまわりがおとなのせいか子供の遊ぶことに興味をもたないさうである。礼子の神経質についての母親の説明を簡単に要約すると以上のごとくである。このように彼女が神経質は、精神の不安定といふことが強くあらわれている。このような精神の不安定は、(1)近頃、いちじるしく心を動揺させるような事件にぶつかつた場合、たとえば、不意に母親がいなくなつたような場合、(2)いちじるしい心配事のある場合、または、心配が長くつづいていいる場合、(3)環境から圧迫されている場合、または、環境が本人と非常に不調和な場合、(4)身体に、異常のある場合、(5)精神の異常をきたす前等があるが、近頃別に変つたこともなく、心配事についてしらべても発見できなかつたし、礼子の身体はきわめて壮健である。

ところが、母親の次の言葉によれば、本

人と環境の不調和を明瞭に発見することができる。母親の言うところによると、近所には年上の子（小学三年—五年）が多くて適当な子供がおらず、彼女は外出しても、よいことはなに一つもおぼえて来ないから、家にとじこめていたという（母親が彼女が子供の遊ぶことに興味をもたないと言ったのもここに原因があつた）外に出ると、荒々しくなり男の言葉遣いをするようになるから、外出させぬようにしているのである。それでも元氣な子供のことだから、まれに外出するのだが、泣かされたり家に帰つて気づかされているような様子は全くない。現在精力をもてあましてるようにみえる。またおとなの話を非常に注意してきいている。以上が母親の言葉であつたが、この例は「ひとり子、または長子の場合、彼女のような育児に熱心な母親（この母親は或る女子専門学校を卒業しており、礼子の育児に非常に高い理想をもつていた）によつてしばしばおかさされるあやまち」で、時々違ふ例である。要するに母親は子供の本性をいがるような環境をつくつてゐるのであり、このままでいけば、礼子の神経質な態

度はますます強くつたであらう。

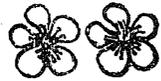
ここまでわかれば指導は簡単である。よい言葉をつかう習慣をつけることは望ましいことであるが、住所を他の所に変われば、理想をさげるより仕方がない。現在どのように悪い言葉をつかつていても、たとえば三年後に、上品な言葉をつかう邸宅地域に移つて二か月ほど経てばたちまちよい言葉に変わることなどを話して、近所の子供達と十分遊ばせるように強く言い幼稚園に入れることをすすめた。

母親は学年の中途であつたが、礼子を近所の幼稚園に入れ、いままでの態度を一変した（そのときまでも母親は自分の育児態度を非常に心配していたさうである）礼子は幼稚園に行きだすと、みる／＼元氣になり、三か月ほど後母親があいさつに來て言うには、神経質のシの字も見当らないといふことであつた。この例は環境を無視した教育理想が幼児にいかにか非効果的であるかを示すよい例である。

以上、五つの例をあげたが、神経質の種々の類型を知り、神経質の具体的概念を把握するためには、さらに五・六の例を挙げることが必要である。いつか機会があればこのことを果したい。

以上の五つの例でも分るように、神経質な幼児は必ずしも知能が低いことはない。むしろ知能の高いものが多い。また神経質の原因は、素質的な内容が強く考えられ、幼児の近親に似た人がなかつたかをたずねた場合、ほとんどすべてが心当りをもつてゐる。また長子やひとり子の場合が多く、わがままに育てることも神経質を助長する大きな原因である。その他、母親の神経質な場合などの複雑な家庭環境、身体虚弱、などもその原因をなす。妊娠中に栄養が非常に悪かつた幼児で神経質な幼児を二人診たが、その因果関係は全く分らない。なお生育中に非常に恐しいことであつたその印象が強く残り、その印象を中核として神経質な性格を造ることがあるから、注意しなければならぬ。

## 結 論



## 雛祭と

### その飾り方

山田徳兵衛



永い寒さに飽き／＼する頃、新聞の記事に雛人形のこと  
 ちら／＼と見え初め、雛見世の明るい灯が街をいろどるよう  
 になる。そして、やがて、春の樂しみの雛祭がやつてくる。  
 さて、雛祭といふことはいつ頃から始まつたものであろう  
 か。

古い書物によると、三月三日は一つの節句（節供）として  
 上代は宮中にて宴會が行われ、その日は供物をそなえ、また  
 鬮（ひな）や、曲水宴（まがみづのえん）が催されたことが記されている。曲水宴とは  
 流れに沿つた所に坐して詩歌を作る遊びである。

平安時代の文献によると、当日、桃花餅・草餅を供えるこ  
 とが記されていて、民間でもこれを行つてゐる。鎌倉時代に

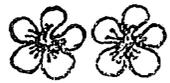
は桃花酒、室町時代には白酒を供えたことが書かれている。

以上の催し事や、供え物は、雛人形に上げたのではなく、  
 正月の七種粥や、五月の粽と共に、節句としての供え物であ  
 り、いわばお互いにお互いが飲食しただけのことである。従  
 つて一応、雛祭とは別の行事であつた。

文献に、三月雛祭を行うことが現れているのは、江戸時代  
 の寛永頃からである。「御湯殿の上の日記」という、宮中の  
 御日記の、寛永二年三月四日の条に「中宮の御かたより、ひ  
 いなのたいの物、御たるまいる」とあり「時慶郷記」とい  
 う書に、中宮東福院が「ヒナノ樽、台ニテ」酒宴をなされてい  
 ることが記されている。これらが雛祭の最も古い記録である  
 が、前に述べた節句の供え物は、そのまゝ雛祭の供え物にな  
 り、節句即雛祭となつたわけである。

たゞし、三月の雛祭の記録が、宮中の書物に早く見えるか  
 らといつて、宮中から始まつたということにはならないので  
 ある。雛遊び（人形遊び）や、雛流し（自分の災厄を雛人形  
 に負わせて流す風習）は、古くから地方の民間にあり、これ  
 が地方人の集まる江戸に行われ、後に京都に移つたようであ  
 る。元祿年間に出た「娘ちりけ草」という書にも「ひなあそ  
 びは、あづまのかたには、おとなしき人もいはふものとしてす  
 れど、都にはめ（見）なれず」と記されている。

雛祭が、今日のような形式に定まるまでの沿革は、なかな  
 か複雑で簡単には述べられないが、大体このようなことでほ



と判るかと思う。また源氏物語などに見える、平安時代のひいなあそび（雛遊び）や、ひとがたのはらえ（おほらい）等の、精神と行事が、その姿遷の中を貫ぬいて生きていることも見逃せない。

さて、江戸時代の初め頃の雛祭の飾り方を見ると、紙雛（立雛）を主としており、やゝ降つてからも、内裏雛だけがこれに加わつている程度である。

芭蕉に

内裏雛 人形天皇の御宇かとよ

という句があるが、

段の雛 清水坂をひと目かな

という其角の句を見ると、まだ当時は、内裏雛が主であつて段々に飾らなくてはならないほど、いろいろの人形を飾るところは珍らしかつたのである。それで其角がそれに興じて清水坂と洒落たのではなからうか。

今日では、雛段という言葉さえ出来て、雛人形は、赤い裂を敷いた段に飾ることがお定まりのようになったが、江戸時代の中頃までの絵を見ると、一段、二段又は三段ぐらゐに飾られているのが多い。

天明頃（百七十年ぐらゐ前）の几董の句に

うら店や 箆筒の上の雛まつり

いうのがあるが、雛段の形式の出来上る前には、箆筒を応用

したものもあつたのであろう。この几董の句は、あなたがち洒落ではないと思うのは、同じ頃（安永頃か）の磯田湖菴斎の浮世絵版画に、箆筒の引出しを、すこしずつ引出して、段々にして、それに赤い裂を掛け、男女が雛祭をしている図がある。

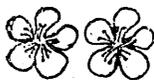
明治の末頃から、東京では、内裏雛（二人）官女（三人）囃子（五人）隨身（二人）衛士（三人）をきまり物と称して雛飾りの中心とすることになり、後には、これに十五人揃という名称まで出来た。

今日でも、この十五人の雛に、屏風・ぼんぼり・桜橘・三方・菱台・高杯・お膳を添えて飾ることが一つの定法となり標準飾りといわれている。

この形式は、永い間、数多い飾り料の中から自然に選ばれた種類であり、また、飾り方も、たしかに賑やかで、一種の調和があり、結構だと私は思つている。

しかし、この優しく楽しい雛祭に、あまりきびしい飾り方などのきまりを定めることには、私は反対なのである。標準は標準として、場所の広さや、予算の都合で、いろいろの飾り方があつてよいと思うのである。

私の家に、オ、ン、ボ、ロ、のピアノが一台ある。二月





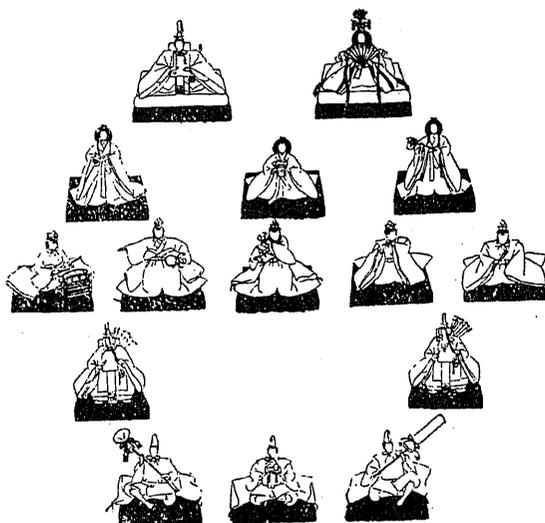
になると、私の家ではその上に赤い毛氈を横長に掛け、金屏風一双を置き、やゝ大きめの内裏雛一对だけを飾る。そしてその左右にぼんぼりを立て、高杯にあらねなど盛つてこれに供えるのだが、これが、なかなか風情があるのである。

時々、女兒たちがそのピアノをたたくと、そのたびに女雛の天冠のびらびらがゆら／＼と動いて、またひとしおの風情を増すのである。

雛段を、三段ぐらいにして、内裏雛と、三人官女と、隨身だけを飾る式もいゝものである。また、たゞ内裏雛一对を飾り、わきに桃と菜の花を挿し供えただけの飾り方にも、簡素なよさがある。

それだから、私は、雛祭の飾り方というものは、ちようど文字に楷書・行書・草書のあるように、いろいろのいゝ飾り方があるのであると、云いたいのである。

それぞれのお家で楽しく工夫して飾るのが本当であつて、



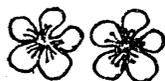
おひなさまの小道具のつけ方

一軒々々幾分ずつ違うのが、むしろ本式の飾り方であるといつてもいゝのではあるまいか。  
たゞ、どの場合も、色のいゝ赤い裂を敷き、うしろに金屏風を立てることだけは、雛祭の気分を出すのにぜひ欲しいことだと思ふのである。

なお、幼稚園や、学校等、広い場所でする雛祭の飾り料は、なるべく大形のを選ぶべきで、そのため予算等の張る場合は、毎年一種ずつ買い足してゆくことなども、楽しい方法だと思ふ。

終りに、重ねて申したいことは——雛祭というものは、人形の飾り方の形式などよりも、みんなが楽しく／＼遊ぶことが主眼であるということ、いろいろ工夫して飾ることもまた楽しみの一つだと

（筆者、吉徳人形店主）





# 春の雑草

佐々木尚友



スズメノカタビラ



スズメノテマリ



ホトトギス



キツネノホソク



コスミレ



アケボノミレ



ホトトギス



ササコグサ



キウリグサ



クネツケハヒ



チヂコグサ



クワコ

節分に立春と極寒の候も過ぎて春分の頃ともなると春も愈々本格的、何かこうじつとしていられない気分になつて来ます。日一日と春の装いも軽く戸外に出て、思う存分春の空気を吸いたい気持ちになり、おのずと自然に接する機会が多くなります。木の芽、樹の肌、凡て水を上げ下草も生氣を取りもどして一木一草みな潑刺とした感じを呈してきます。

小鳥は木々に囀り蝶も舞い初めませう。この頃になると子供達も戸外に遊ぶ時が長く自然の内に草木に接し子供は子供なりのするどい観察をします。堀いたずらの一節に、まゝごと遊びの材料に春の雑草はまた子供達のよい仲間であり教材でもあります。春の雑草、庭の片隅に路傍に、それは数限りなく、謂ゆる名もない雑草の仲間を子供に聞かれ返事に困ることも度々です。そこで最も私達の生活の身近に見るものを選び出すまゝ書き綴つて父兄方のなにかの御参考になればと考えます。

一体幼ない子供達に雑草の名を教えてみたところで、……と考へて見ないでもないのですが、それは植物の名を知識として正確に教えること云うことではなく、子供がその名を知つたことによつて感ずる喜びと、覚えたもの以外に新しく自分の知らない草を探し出すと云う観察力の涵養と云うことにむしろ大きな効があるのではないかと思ふのであります。然し幼ない頃の観察力とその記憶は実に正確でわすれがたいもので、それ丈に名もない雑草の間にも正確な答をあたえてやり

たいと思ふのであります。

#### スゞメノカタビラとスゞメノテツボウ

庭の隅、路傍至る処に見るカホン科の小草で多くの草が枯れ、未だ黄味を帯びている秋冬の頃でも青々としていてすぐ区別することが出来ます。草丈10糎内外で五、六、花の小穂を付け暖かい日溜りなどは冬でも穂を出しています。葉は軟かくよく似た稍大型のものに、カラスノカタビラがあります。この方は少し花が茶褐色を帯びてます。

スゞメノテツボウ、これも原野、野傍に普通に見るもので前者同様子供向な可愛い名前の草でカホン科、草丈、二―三〇糎細い円筒状の長穂を各枝より出し、よく穂先を抜いて表笛のように吹いて遊ぶ草です。

#### イヌノフグリ

春最も早くに咲いている空色の小花で、ゴマノハグサ科の二年生草木、花は四弁花で一糎弱、手でさわるとすぐに散るもので草丈は一〇糎内外、一面に群生している眺めはまことに美しく愛らしい。オ、イヌノフグリ、タチイヌノフグリの三種があり本物のイヌノフグリは比較的少なく、後者の二種が普通に見られるものでペロニカの一様です。

#### スミレの仲間

タンポポ、ナズナ、ツクシにレンゲソウ等も春の代表的草ですが、何といつても春の野のスミレは親しみ深いもので一口にスミレといつても我が国には非常に多くの種類があり

百數十種を越しませう。従つてこれらを正確に知るには仲々むづかしい植物です。多くは多年性の宿根でコスミレ(紫色)アオイスミレ(淡紫色)が最も早く咲き、スミレ(濃紫色)ツボスミレ(淡紫色)マルバスミレ(白色)ニオイスミレ(白色小花)がこれに続き人里近くの普通に見られるものです。

### ハ、コグサとチ、コグサ

いづれもキク科の植物でハ、コグサは本当はホウコグサと呼ぶのが正しく、二年草、チ、コグサは多年草、いずれもフラインネルのように綿毛を被つた厚味のあるピロウド状の白い葉で三、四〇糎大、母子草は黄色、父子草は茶褐色の花を開く母子草は春の七草の御行(オギヨウ)の事で古来その葉を餅に入れたものです。今普通に餅草と云つて餅に入れるのはヨモギの葉で、これも早春の摘草の代表的なものでヨメナと共に親しみ深い植物です。

### サギゴケとキランサウ

サギゴケは庭や田地に多く生ずる多年性の小草で、四・五糎大唇状の紫色の可愛い花を咲かせ、これによく似て花の小さいものにトキワハゼがあります。いづれもゴマノハグサ科で、素人によくまちがえられやすい花にこのサギゴケの葉をつめたような型のキランサウがあります。オドリコサウ科の多年草で葉には毛が沢山あり全体に厚ぼつたい感じ、花は鮮紫です。

### タビラコとヤブタビラコ

タビラコは一名コオニタビラコと云つてこれも春の七草の一つで仏座ホトケザがこの草です。稍々大きく葉面に毛のあるものはヤブタビラコで、いずれも若草は食用とすることが出来、菊花状の黄色の小花を咲かせ、葉茎を切ると白い乳状の液を出します。

この外早春に目立つ野草 としては黄色い花を咲かせるニガナ、ハルノノゲシ、ジシバリなどいずれも切ると白乳を出すもので、白い花にはハコベを初めミ、ナグサ、ノミノフスマなどナデシコ科の植物、ヘビイチゴ、ミツバツチグリ、キジムシロなどいずれも苺に似たバラ科植物で、黄色五弁花を咲かせます。花がこれに似て稍々大きく立性のウマノアシガタ科のものにウマノアシガタ、キツネノボタン、タガラシなどがあり、これは有毒植物ですから特に子供さんたちに注意して教えておきたい植物でもあります。

この外イヌガラシ、タネツケバナ、人参の葉に似た軟かい感じのするムラサキケマン、キケマン、或いはよく似てまぢがいやすい、カラスノエンドウにスマメノエンドウ、その中間の姿をしたカスマグサ、忘名草を小さくしたような、空色の花を咲かせ、葉をもむと胡瓜の香のするキウリクサ、さては種子をとばすカタバミに苦のようなツメクサと早春の雑草も限り無く、数覚えればおぼえる程、興味が出て来るものです。

(筆者、新宿御苑、厚生技官)



も、庭に自然のまゝで小鳥達を誘致する工夫を凝らすほうが理に適っています。

これらの小鳥にも、一年中日本にいて夏は山の奥、秋冬は人里近くに移るとか、春まで平地の村落などにおいて夏には海岸方面に去るとか、短距離の移動にとどまる者と、春日本に來て秋去り、或は秋日本に飛來して春渡來する渡り鳥と、あります。

庭に現れる種類も四季によつて違います。スズメのように周年人家近くにおいて去ることのない者さえあります。多くの小鳥達はいつも日本にいて或は日本に滞在している間に動物質の物を食べたり雑草の種子を啄んだりします。田畑の雑草を除去するのが農家の人々にとり、中々大きい負担であるのを私達は知っています。小鳥達は普段でもそうですが、自分の雛を育てる時にはスズメのようなものでも毎日多量の昆虫やその幼蟲、クモその他動物質の物を捕えて来て食べさせます。そういう昆虫は全部とはいえないまでも農林業上の害虫が極めて多いのです。そういう悪い蟲を自分や雛のために毎日欠かさず相当の量を捕えて来て餌にするのでありますから、小鳥達がそういう害虫の天敵として私達の知らぬ裡に尽くしてくれる役割は誠に有難いものです。もしこういう小鳥達を射ちとつたり追払つたりすれば、その役割を放棄して別の所に移つてしまふし渡り鳥なら段々渡つて來なくなり、戦時中から戦後にかけて世の中の秩序が乱れ、法に従ふぬこと

が多くなり、あとさきの考えもなく野山の鳥を濫獲したり森林を濫伐して小鳥達の安住の地を奪つたりしたので目に立つて数が減り、延いては農林業上の害虫を蔓延らせるようになったのです。戦後日本の各地に松食蟲が拡がり貴重な天然資源を大量に損つたのも、小鳥達を追いつめたのが自然界の均衡を破り松食蟲をして時を得顔にさせた一つの有力な原因であります。野鳥でおおわれる程満ち満ちた国土にするためには密猟を嚴禁し、森林の濫伐をやめて小鳥達の安息の場所を残し、モグリモグリの飼養もいけないし総べて道義の昂揚が必要です。徳義心のない日本人の数ばかりふえて同胞に迷惑をかけたたり同胞相食む愚を演じているのは本当に悲しむべきことです。自分の間は野山の鳥はふやし日本人は減らすようにすべきだと私は念じています。

公園や広い庭では巣箱を架けたり給餌台を置いたり水飲み水浴びの場所を提供したりして大いに小鳥の誘致に努めたいものです。

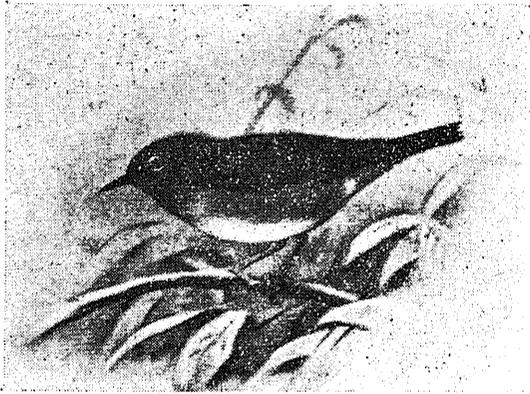
新潟県加茂郡の学校の先生に非常な愛鳥家がいて野鳥養護林と名づける小鳥達の安息所を設営し大いに効果を挙げています。これは温存された鬱蒼たる樹林に小鳥誘致のための諸施設を整えたものです。

まあそれ程でなくとも、広い庭だつたらせめて餌をやる台でも置いて、冬に餌を求めるのに苦勞する鳥達を喜ばせる位

のことをしたいものです。巣箱を架けることも大切ですが巣箱を利用する鳥は種類が限られていますから、給餌台のほうが一層野鳥を喜ばせることになりましょう。

要するに野鳥を捕えて飼うことには必ずしも賛成しかねるのですが、それでも飼うというなら上記定められた種類の範囲で正規の手続をした上で愛育して下さい。鳥屋から購入する場合には手続等に関しては鳥屋とよく御相談下さい。

もとは野生であつた鳥を、羽彩が美しいとか動作が面白いとか鳴声が良いとかで西洋でも東洋でも馴致して、今では家庭で籠等で飼うのに適するように仕立てられた種類がいろいろあります。それらは籠の中で巣引させることが出来、野生の雛がほとんど失せて全くの愛玩鳥になつたものです。カナリア、インコ、十姉妹、文鳥等がそれでこれらは鳥屋に行けばいくらでも買えるし、飼うにも許可等いらす大威張りです。その上、野山の鳥の飼育は餌その他難しいものですがこういう小鳥達はやさしく



ウグイス

割に手数がかゝりません（餌は時餌と青菜でいい）。

一体小鳥は綺麗だし餌の種類も鳥によつて大体きまつてい

るし飼うのに場所をとらないし、扱いはよくて家庭で素人にも

飼えるものです。小鳥が愛玩の目的によく適う動物であるこ

とは、一寸でも飼つてみると痛感なさるでしょう。

小鳥の世話をする事から動物愛護の念を強く萌

し、それから更に人間同志の親和に役立つことにな

りますし、子供達の自然観察にも活用出来る筈で

す。克明な飼育日記でもつけさせるようにすれば誠

に有意義と考えます。

それでは次に、始めに挙げた七種の日本の野鳥を

順に説明し併せて飼い方にも触れましょう。但し私

はこれらの飼育の経験に乏しいのでその道に詳しい

方々のお話を取次ぐ場合が多いことを御諒承願つて

おきます。

【ウグイス】

ウグイスの羽色は昔から鶯色といいますが背面は

オリブがかつた褐色、腹面はクリームがかつた白

色です。鶯餅という和菓子の色は本当の鶯色ではな

く寧ろメジロに近い位でしょう。羽色では雌雄の区別はつ

かないが、雌は雄より小さいので馴れた人には識別出来るよ

うです。

夏山奥で蕃殖し秋に平地に現れ、秋の中頃から平地近くに

姿を見せます。その頃は庭の植込の間などを潜つて歩いたり枝を伝つたりしながらチャツチャツと鳴きますが、これがウグイスの笹鳴きでその頃のウグイスがヤブウグイスです。春殖期になると、経を読むようだと言われ、昔からいわれるホーホケキョーという声で囀ります。人里近くでは、三月から四月にかけての僅かな間しか囀りをきかれません、山の中では引続ききかれるわけです。山の中で谷から谷に響き渡るかと思われる程ケツキョーケツキョウとせわしく鳴き立てるのを「鶯の谷渡り」といいますが、その時谷を渡つてゐる訳ではありません。昔からお正月にウグイスの初音を聴くのを喜ぶ習慣があり、近頃は元日にラヂオで初音の放送があつたりしますが、その頃ホーホケキョーと囀るのは九州の南部や伊豆七島など位で他の所では早過ぎるのです。ウグイスの初音というのは、繰上げてお正月にむりに啼かせるように飼ひ方を工夫したもので、決して自然ではないのです。

ウグイスは周年日本にいて数も多く、昆虫を主食とするので害虫駆除の功は大きいといわれなかりません。

卵は赤褐色で長さ一・七センチ、厚さ一・三センチ位、一産に五―六箇です。巢は笹藪などに造られます。面白いのは、ホトトギスには自分で巢を造る習慣がなく、ウグイスの巢の近くをうろついて六月か七月にその巢の中に自分の卵を一つ産み落し、立ち退いてあとの世話を一切ウグイスに任せ

てしまうことです。ウグイスは仮親になつた訳で自分の卵もひとの卵も一諾に抱いて温めます。ホトトギスの雛はウグイスのよりも必ず早く囀り、瞬ると巢の中にあるウグイスの卵を邪魔にして体を動かして巢の外に押し出し、自分ひとりウグイスの運んでくれる餌を貰つて育つて大きくなります。ウグイスはどういう気持なのかわかりませんが（ホトトギスの卵は色はウグイスのと同じで形はやや大きい）せつせと餌を運んでこのよその子を育てるのです。この不思議な習性は昔の人も気づいていました。

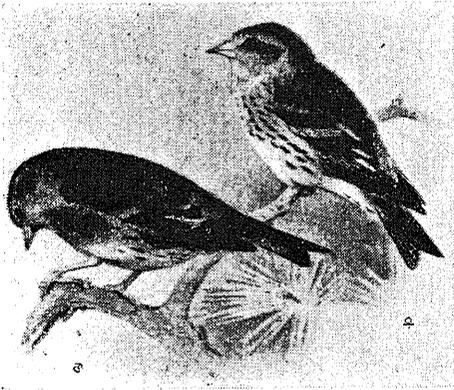
ところで英語でナイチンゲールという鳥が日本で「夜鶯」と訳されるのでウグイスの仲間のように誤解されますから一言つけ加えて置きましょう。これは実はツグミ科の鳥でコマドリ等に血縁が近くウグイスとは全く別類です。羽色は鶯色に近く背面は灰褐色、腹面は淡く、尾は褐色みが強いのでアイギリスだけでなくほとんど全ヨーロッパにおり、冬には北アフリカに渡つて避寒します。コマドリなどのように高く美しい声で昼も啼きますが、日没後鳥の声もやんでひつそりとなつた頃盛に啼くので特に有名になつた訳で、日本の昔の学者は「小夜啼鳥」という名を与えています。又ウグイスの漢名として黄鳥というのが用いられますが、この黄鳥も本体はウグイスとは全く別業です。ムクドリや九官鳥（よく人語を真似る）に近縁のものでコウライウグイスというのが標準和

名です。朝鮮・台湾その他に産し羽の彩り美しく声も佳いで昔から飼鳥にされてきました。その声はきよようによつては Who are you と聞えます。羽は黄金色で翼の一部と尾の一部は黒く、又眼の所から後頭部をぐるりと環る黒い帯があります。

マヒフ

一般に鳥屋で売つているひご竹の鳥籠に入れて飼うのですが、大專にする人はこの籠を更に籠桶という箱に収めて鳥を驚かさぬようにします。この箱は前面だけが障子蓋になつています。鳴声のよいウグイスに仕込むには、雛の時分から鳴きの優れた親鳥をそばにつけたり、専門家はいろいろと苦心します。夜飼いというのは秋になつて日短くなつて来ると、夜明るい居間に籠桶を持ち出し電燈を明るくして昼の延長のような錯覚を起させ、年の暮にもうホーホケキョーと囀らせようという仕組みです。

ウグイスの餌には五分の播餌を用います。播餌というのは御存じと思ひますけれども、米糠と、川魚を焼いて粉にしたものと、青菜を播鉢ですつたものと夫々混ぜ合せ、水で軟く



したもので、米糠や魚粉は鳥屋で売つています。米糠といつても玄米粉と糠とを混ぜたのがいゝことになつており、魚粉は小ブナ、ワカサギ、ハヤ等あまり大きくない魚を使うのが本式で、串に刺して狐色に焼き上げ、それを陰干にしてよく乾燥させてから粉にするのです。五分とか三分とかいうのは例えば米糠十匁に対し魚粉を三匁混ぜたのが三分餌です。青菜の分量は播餌がよもぎ色になる程度といわれます。幼鳥でしたら魚粉の量を比較的多くします。この播餌は一遍にたくさん用意しても腐敗し易いから、毎朝必要量だけ作らねばなりません。それを忘れてたり怠つたりするようでは鳥を飼う資格は無いわけです。播餌の鳥は別に水をやらなくてもいいのです。文鳥とかカナリアとか外国種のものは大抵播餌で、播餌の飼鳥は播餌を毎日作らずに済むので楽ですから日本にも大いに普及するようになったのであります。けれども昔から多くの人々が経験に経験を重ねてこつこつ播餌というものを考案調査するようになったのでして、播餌の鳥は大人向の飼い方だといえましよう。播餌は材料は簡単なものです。が飼料としての価値は極めて合理的で、兎角欠乏しがちのヴィタミン各種や灰分などが適宜配合されているのです。

播餌で飼う鳥には飲水を与えないので、播餌の鳥のように

飲水器の水を利用して水浴びをすることが出来ません。ところがウグイスは水浴びを喜ぶので次のような方法で夏なら一週二回、冬なら一回位水浴びをさせます。それはお天氣の好い日であることが必要です。水浴籠という木製で底のない小さい籠が出来ていますから、まずその中に鳥を移し、器に水を盛つてそれにこの籠の底が七八分も水に浸るようにつけるのです。ウグイスは喜んで水中におりて勢よく羽搏きをして水浴びをやります。満足して上にあがり翼をふつて水をきる頃、その籠のまゝ夏では日陰の風通しのいい所、冬なら陽あたりのよい場所に置くと、濡れた体もかわきます。

## 【マヒワ】

マヒワは真鶺で、ヒワの中には他にカワラヒワ、ベニヒワその他の種類がありそれらに対して「普通の」「代表的の」ヒワという意味です。

スズメ科の鳥ですがスズメより小さく雌雄異色で雄では背面暗緑色、腹面は黄色を帯び、雌では背面は褐色みが強くなっています。ひわ色というのはこの鳥の羽彩に起つています。

日本では秋に現れる渡り鳥で地方によつては大群を成してやつて来ます。戦前は渡りの時に一網打尽式に捕獲し食用にしたもので、昭和元年には八十三万羽以上のものが捕獲されそれを重量してみると五千貫近い有様でした。雄は木の枝の一つ所に長らくことごとくとしていて、ツインツインとい

うような声で鳴きます。

冬は木の実を主食とし夏にはそのほかに昆虫を啄みますが、それが木につくアブラムシが多いので有益です。

よく馴れるので昔から飼養されますが、播餌だけでよいので簡単です。私はやつたことはありませんが、カナリアと交配して雑種を作ること、た易いといわれています。

(財団法人山階鳥類研究所主事・早稲田大学講師)

## 生徒募集要項

- 一、募集人員 第一部(昼間)五十名 第二部(夜間)五十名
- 二、修業年限 二年
- 三、受験資格 次の二項中何れかに当てはまる者
  - 1、新制高校(旧制高女卒業、卒業申込者を含む)卒業以上の者か又は通常の課程による十二年以上の学歴教育を修了した者
  - 2、満十八歳に達した後二年以上児童福祉施設で児童の保護に従事した者
- 四、願書受付 二月十一日(一)三月二十五日
- 五、試験科目
  - (1) 学科試験(国語、社会科)
  - (2) 人物考査
  - (3) 身体検査(提出の検査証をもつてこれにかえる)
- 六、試験日時 四月二日、三日午前十時より

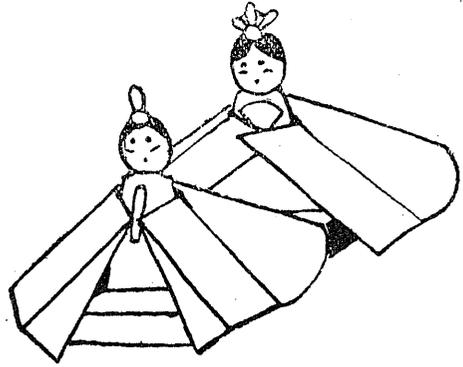
東京都立高等保母学院

港区麻布弁町一八一

# 友のしい あしごこ

(おひなさま)

及川ふみ



三月の季節の材料として、おひなさまをと  
りあげよう。年中行事の中でも、ひなまつり  
は家庭でも、最もよくとりいれられて、こと  
ものよろこぶ行事の一つである。年々に家庭  
で身近かに、多くの経験をもち、又おもちゃ  
や或るデパートなどに飾られているものを見  
ることも多いので、比較的豊かに製作の資料  
をもつことであろう。

又一方幼稚園として考えても、小学校へ進  
学する直前の時期でもあつて、ことも遅の幼  
稚園生活の成熟期とも云うか、製作に對す  
る意欲も盛んで、ものの形や、色に對しても  
ことも各自がそれぞれにその創意と工夫の出  
来る時期でもあるので、それ等のよき発表の  
機会であるとも考えて、この材料をとりあつ  
かつてみたい。

## 一、こどもだけでつくる ひなかさざり

おひな、めびな、をはじめ、ひなかさざり一  
式を、こどもだけで、つくるゆき方。

これは最もものぞましいことである。どんな  
形、どんな色どりが出来るか、ほほえまし  
いものが見られることである。

これには先生の方で用意されたいことは、  
去年の記憶を新らしくよびおこすために、  
保育室に早々とひな人形を飾ること、近く  
のおもちやや、或はデパートなどにひな人

形の見学につれていくこと。製作に使われ  
そうな、様々の材料を豊かに準備されて、  
こどもたちが自由に使える様にしておくこ  
と。

## 二、おひなさまだけを先生と協力して作るゆき方

ひな飾りの中心となる、おひな、めびな  
だけ大人の協力によつて作る。

これにも作る難易の程度は様々であるが、  
今年こころみに作つたものについて

### 〔工作圖一〕

#### おひな

着物は、二つの四角の、のりつけの部分  
をのぞいて、色、模様はそれぞれこのみに  
応じてかかせる。

胴のしやくの周囲も、上衣の一部分であ  
るから、着物と同様にすること

しやくの下の三角形の部分と、点線の二  
こまは下ばきであるから、着物と同系のう  
す色無地にすること

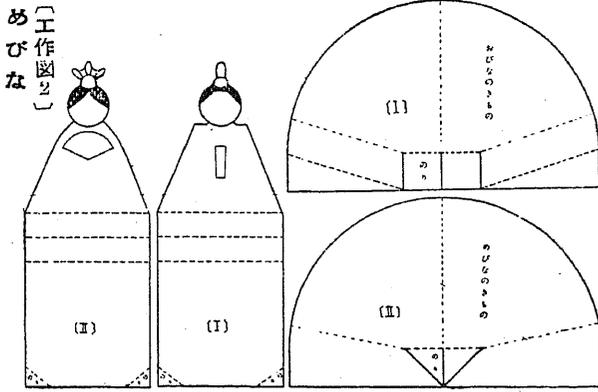
袖口の部分は赤にする

#### 組み合せ

着物の中央の四角を二つ重ねて、糊つけ  
にする。

胴の部の、上の一の点線は凹に折り下の  
二、三、の点線は凸に折る。顔のあごの下

を、着物の四角の頂点につける。  
 兩袖の上の端を、しやくでつき合せに  
 なる様に盛く糊でつける。



〔工作図〕  
 めびな

着物はおびな同様に三角の部分のをのぞいて、色をぬり、模様をかく。

胴は扇の周囲を上着の一部分として、着物と同様の色や模様をつける。

扇の下の三角形の部分と、点線二こまは

緋の袴であるから赤くぬる。  
**組み合せ**

着物の、三角と三角とを糊ではり合せ、その頂点に、顔のあごの部分をはり合せる。兩袖の上の端を扇の下でつき合せにする、顔はこども自身でかかせる。

おびな めびな は大人の協力によつて作られたとして、台、屏風、さくら、たちばな、ひしもち、諸道具、御馳走、など次につくられると予想される品々である。

$\frac{1}{3}$ に縮尺  
 材料について考えたいことは、画用紙、ボール紙だけに限らず、そのものの表現に都合のよい材料であること、手近かに容易にえやすい材料であれば何でもよいのである。草木の枝、実、貝がら、マッチ、タバコの空箱、など何でもよい。

たとえばおひなさまの台には、ボールの空箱の蓋がよい。高さ一センチから二センチ位のものゝ適當である。一つを おびな めびなの二個に切つて使つてもよい。紙のかたさで、画用紙などで作つたものより丈夫に出来て、色をぬつたり、色紙をはつたりして美しい台にすることが出来る。

又、さくら たちばな などは、小さい木の枝に花や、みをはりつけて、クリームの空瓶などにさしてもよいし、はまぐりや、その

他の貝がらに色をつけて、御馳走の器にしても美しいものである。マッチ、タバコ、の空箱を組み合せて、たんすや、小箱の調度品とするのも簡単に面白いものが作られる。

こどもと一緒に、これ等の材料をいじつてゐる間には、大人の及びもつかない面白いものを考え出すことがある。製作の指導などと大げさなことを大人が云うけれども、こどもと一緒に何か作つて遊んでいるうちに、大人がいつもいつも教えられることが多い。こどもの部屋に入つていつと一緒に遊んでいるということは、一つにはこどもから大人が教えられているのだと云うことにもなるのである。

保育室の一隅に、共同製作として、つくられた ひなかさざり をこどもたちがみるとき組全体の誰もが、自分で作つたおひなさまとしてよろこびに満ちた気持と、自分のおひなさまとしての親しみと大切さを、よくよく感じると思われ。そうしてお友達と一緒につくつたと云う協力の美しい気分も、そこに自然に湧きおこることも予想されて、ひなまつりの美しい、そして暖たかい感情のうるおいに包みながら、こどもたちと一緒に遊ぶびとして、このひなつくりをしてみたいものである。



アメリカ童話から

22

松原至大

上つたり下つたりの兄妹

ジャックちゃんとジエネットちゃんは、ふた子の兄妹でした。町からはなれた農場に住んでいました。近くには、お友だちがいませぬ。毎日兄妹でばかり遊ぶので、時には飽きてしまうこともありませぬ。

雪がたくさん降つてゐる、土曜日の朝のことでした。お父さんは、家畜の見まわりにおでかけになりました。お母さんもお使いで、お留守でした。お家には、ジャックちゃんとジエネットちゃんと、それからコリー種の仔犬ラツグスとだけでした。(コリー種の犬つて、ご存じですか。イギリスのスコットランドに多い犬。家畜の番が上手です。鼻の先が細くつとがつて、毛が長く、ふさふさとした尾を持つてゐます。)

「エレヴェータごつこしない？ 町のデパートになるでしょう。」と、ジエネットちゃんがいました。

「いいとも。ぼくが、先に運転するから、ジエネットちゃんは、その次ぎだよ。ホールのじゆうたんを、エレヴェータつてことにしようよ。」と、ジャックちゃんが賛成しました。

「わたしが、先よ。わたしが、思いついたんですもの。」と、ジエネットちゃんは反対しました。

「ぼくが、じゆうたんのことを思いついたんだよ。」と、ジャックちゃんは負けません。

ふたりとも、おこつてしまつたようです。そのうちに、ジャックちゃんが、急に笑い出しました。そして

「君は、ぼくの妹だよ。おまけに、たつたひとりの遊び友だち。いいよ、君が先にエレヴェータを運転おしよ。」

「まあ、うれしい。でも、わたし、わがままだつたわ。お兄ちゃん、先に運転して。」

と、ジエネットちゃんはいいました。

「いいよ。先におやりよ。」と、ジャックちゃんがひきません。

「いや。」と、ジエネットちゃんもひきません。今度は、ジエネットちゃんが笑い出して

「わたしたち、おぼかじやないかしら。今度は、あとになりたくて、けんかをしているのよ。いいわ、こうしまし

よう。上る時は、わたしが運転して、下る時は、お兄ちゃんが運転するのよ。」といいました。

「ぼく、上る方を運転したいな。君、下る方をおやりよ。」と、ジャックちゃんがいいました。

今度は、ふたりともおこつてしまつて、どちらも笑ひませんでした。けれども、そのうちに、ジエネットちゃんが口を開きました。

「いいわ。お兄ちゃん、上る方をやつてちょうだい。一番上まで、わたしとラツグスを連れてつてちょうだい。」

けれども、その朝のジャックちゃんは、どうかしていたのちがひありません。

「犬は、エレヴェータの中に、連れて行けないことになつてよ。」と、むつとりとしいいました。

ジエネットちゃんは、泣き出しそふになりました。

「おいで、ラツグス。あつちへ行きましよう。もうお兄ちゃんと、遊ばないことにしましようね。わたしたち町へ行つたことにして、お兄ちゃんにあの古ぼけエレヴェータを、ひとりで運転させようつと。」

ジエネットちゃんと言ッグスは、居間にはいつて、町へ行く遊びをはじめました。ジャツクちゃんは、ホールに残つて、じゆうたんのエレヴェータで、上つたり、下つたりしていました。ふたりとも、音はたてていましたが、どちらも面白いとは思いませんでした。

そのうちに、ジエネットちゃんがいきました。

「おいで、ラツグス。ここのお店にはいつて、お前の首輪を見つけてみましょう。」

ジエネットちゃんとラツグスは、じゆうたんのエレヴェータの方へきました。ジャツクちゃんは、にっこりしました。ジエネットちゃんが、遊びにきてきてくれたのがうれしいのでした。

「まあ、どうぞおのり下さい。」と、ジャツクちゃんはいいました。

「犬の首輪は、なん階ですか。」と、ジエネットちゃんがたずねました。

「五階でございます。けど、ちよつとお待ち下さい。その犬は、エレヴェータにおのせすることはなりません。」と、

ジャツクちゃんがいうので、ジエネットちゃんは

「ほんとうですか。」とききました。

「もちろんでございます。ほかのお客さまが、めいわくをなさいます。」ジエネットちゃんは笑い出しました。

「ほかのお客さまですつて。このエレヴェータには、わたしひとりじやないの。まあ、ラツグス、おいで。五階へどうぞ。」

ジャツクちゃんは、エレヴェータが上る音を、口でまねました。リーヴァ（エレヴェータを上げたり、下げたりする機械の取手のことですよ）を、かたんとやつて、エレヴェータを五階に止めました。そしてドアを開くまねをすると、

「五階でございます。犬の首輪とネクタイの売場でございます。足もとにお気をつけ下さい。」といたしました。

ジエネットちゃんは、につこりしました。ジャックちゃんが、りつばなエレヴェータ・マンをつとめたからであります。ジエネットちゃんは、エレヴェータからおりて、お店の食堂にはいりました。そこで、ラッグスのために、首輪を買つてやつたことになりました。お店から出てきたふたりを見ると、ラッグスは巻いた新聞紙を、首のまわりにつけて、得意になつていました。

ジエネットやんが、またエレヴェータにのりますと、

「りつばな犬になりましたね。」と、ジャックちゃんがいました。

「ええ、とてもよい仔犬ですよ。名は、ラッグスといますの。」と、ジエネットちゃんはうれしそうでした。

「ぼく、こんな犬が好きなのでですよ。ぼくが、エレヴェータを運転したお駄賃に、この犬をゆすつてくれませんか。」と、ジャックちゃんがいました。

ジエネットちゃんは、くすくす笑つて、うなずくと、ジャックちゃんとかわりました。

「さあ、おのり下さいませ。すいておりますから、どうぞ。下へ参ります。」

ジエネットちゃんはこういいました。

リーヴァを動かすまねをしました。そしてジャックちゃんといつしよに、楽しそうに笑いました。けんかをするよりもどんなにか面白いのでした。新聞紙の首輪をつけたラッグスも、うれしそうに笑つていました。

(Fletcher D. Slater フレッチャー・D・スレータ氏の作による)



# 三月の幼稚園

堀 合 文 子

## 三月の保育

幼稚園……堀合文子  
 保育所……鈴木とく

三月はあわたたしい。寒い冬から少しづつ、解放され、しのびよる

春の訪れに、よろこびをいだと同時に、学校としての暮の忙しさ  
 であります。年少では年長になろうという喜び。年長は小学校への  
 よろこびで一杯です。このようで何か落着かぬ月ですが、充分に年  
 長の人には幼稚園生活の最後をたのしませてあげたいものです。そ  
 して将来を祝福して送り出してあげましょう。

主 題	年 少 組	年 長 組
<p>○ひなまつり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二月の終りから一生けんめい作っていた。</li> <li>・おひなさまを飾る。</li> <li>・おひな様にあげる御馳走もつくる。</li> <li>・おひなさまのうたをうたう。</li> <li>・おひなさまのゆうぎをする。</li> </ul>	<p>○ひなまつり○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年少の時のように二月の終り頃より準備にかゝり出来た自分達のおひなさまを自分達で飾る。</li> <li>・町のおひなさまをみにゆく。</li> <li>・昔のおひなさまをしる。</li> <li>・おひなさまのリズム遊びをする。</li> </ul>	

・皆で三日の日はゆうぎ会等してたのしく遊ぶ。

### ○花屋さん

- ・近くのお花やさんをみにゆく。
- ・お店の相談をする。
- ・お花をつくる。
- ・その他花やさんでうつつているもの、種子、シャベル、じようろ等つくる。
- ・花籠をつくる。
- ・お店にならべる。
- ・お友達（卒業する大きい組の方、入園してくる小さい方）にあげるのを別にしておく。
- ・開店（売買ごっこして遊ぶ）

### ○おひなさま作り

- ・二月のつどきでおひなさまを作る。
- ・粘土のおひなさまには色つけをする。
- ・おひなさまの御道具もつくる。

（二月にくわしくかきました）

製作  
お畫か  
き

- ・おひなさまのお話を聞く。
- ・あとは年少と同じ。

### ○幼稚園

- ・もうすぐで卒業なのでこの週は幼稚園で遊んだ事、幼稚園でのいろくの事等をはなしあつたり、思出したりすると同時に、あとわずかの幼稚園生活をたのしくさせ、思う存分に生活させてあげる。そして沢山のたのしい思出をもつて卒業出来る様環境を与えてあげる。

- ・入園当時からのお話合。
- ・幼稚園でおもしろかつた事、いやだつた事等種々思出を話合う。

### ○卒業

- ・前の主題に引つゞき卒業の準備をすると同時に小学校へ行つたら等の話合いをしてたのしみにまつ。
- ・卒業のアルバムを作る手伝をする。
- ・卒業式のおけいこをする。

### ○おひなさま作り

- ・二月に記したが、年長ではおひなさまだけ先生の指導で作り、あとは自分達にどんなものが必要か考えさせて、自分達でつくらせたい。

（屏風ぼんぼり等）

○花やさんのお花作り

・お花は比較的仕事としてはむずかしいから、よく指導する必要がある。ある程度大人の手が必要だがあまり大人がつくつたようになつてしまうのもおもしろみがないからその点よく注意する必要がある。

・花の種類は小さくてよいからなるべくお子さんの手でさせよう。

○植木鉢作り

○花籠作り

○シャベル作り

○種子袋作り

○花瓶作り

・空罐を利用したり廃物利用でよい。

○じよるバケツ作り

・これら出来たものは年長の卒業の時に贈物にしたり、四月まで延長して入園の方のお土産にあげるとよい。

お話

○花咲爺さん

○赤ずきん

○見えなくなつたお椅子

○アルバムのお画かき切紙

・自分達の二年間の写真をはるアルバムにお画かきも一番先にはつておきたい。えのぐ、クレヨン、切紙と将来の記念のためにかいてはる。

○めんどりと金の卵

○親指姫

○おひなさまの話

<p>音楽 リズム</p>	
<p>○はる</p> <p>○おひなさま</p> <p>○花咲翁</p> <p>○おひなさまのリズム遊び</p> <p>・曲にあわせて内裏様お姫様になつてあるいたり、又三人官女五人ばやしの形をして、おひなさまの行列をして歩いてても簡単でおもしろい。五人ばやしを簡易楽器に應用して五種類の楽器にわかれて楽隊あそびに發展してもよ</p> <p>う。</p>	<p>○お猿のめがね</p> <p>○鉛の兵隊</p> <p>○幻燈</p> <p>・春の花</p> <p>・花咲翁</p> <p>○人形芝居</p> <p>(兔の洋服屋さん)</p>
<p>★</p> <p>○春よ来い</p> <p>○おひなさま</p> <p>○玩具のマーチ</p> <p>○おひな様のリズム遊び</p> <p>・年少では部分的なリズム遊びをしたが、年長では一つの筋を作つてそれをリズムにあてはめてやつてみよう。</p> <p>・女の子、男の子がおひなさまをかざるので内裏様、お姫様になる子供をつれて来てひなだんに飾る。その時おひな様やお人形やいろ／＼各自すきなものになる。</p> <p>・かざれたら、女の子と男の子はかざつたおひな様をながめて、おゆうぎをする。その子供達が入つてしまうと、おひなさま達も一人一人曲によつてうごき出して、うれ</p>	<p>○幻燈</p> <p>・果実と種子</p> <p>・白雪姫</p> <p>○人形芝居</p> <p>(さんごの首輪)</p>

※ しくて、おどり出してしまふ。そこへ女の子、男の子がやつて来てびつくりするが一緒になつてうれしそうにおどつてひなまつりを過す。

・これは一つの例にすぎないが、この様に簡単な筋を作つて曲にあわせて自由に表現させたい。

○卒業式のうた

○音楽会

・もう幼稚園もすぐ卒業するので、卒業式間近い日をえらびお友達の親睦の意味もかねて、うたつたり、ゆうぎしたり等々をしてお互にお友達の思出をふかめる。皆で好きな歌をうたつたりして過したい。

○ならつた歌の思出

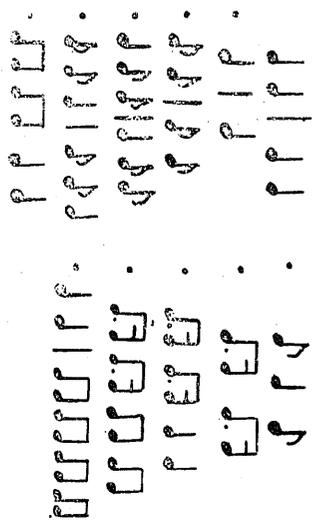
・幼稚園でならつた小さい組からの歌を順々にうたつてみたい。それについての種々の思出も話合いながら歌うとよ。

○楽隊といふ

・もう大体は種々の楽器が使えるから、変るがわる楽器を使つて今までならつた歌をやつてたのしみみたい。

○リズムの記憶

・今までやつてきたリズム感のおけいこも一応一通りおさらいしてみ、正確に体に思出させたい。



○創作

・二年間でどうやら簡単なリズムは把握出来た。自由表現も曲にあわせて自分のおもうように出来るようになった。この二つの条件があれば幼稚園では創作まで手を出さなくともよいのだが、大きな創作でなく、自分達でもゆきが出来る事、曲にあわせて自由に表現する事の一つのまとまりをたのしませるために、新しい曲をあたえたり新しいうたの曲を与えたりしてつくらせてみたい。

・曲は簡単な短いものリズムの明瞭なもの。  
 ・二人で組んでやれるものを二人で相談させてやる。  
 ・出来たものは必ず皆がやつてみる。  
 以上の注意が必要だ。案外おもしろい動作もつき、二人で相談する所も又おもしろい。一人でやらせるより二人組の方が効果的。



観  
察

★

○おひなさま

・幼稚園に飾つたおひなさま、家庭に飾つたおひなさまを  
観察して話合う。おひなさまの名前や役日等を簡単に説  
明してきかせる。自分達もつくつて保育室にかざる。

○桃の花

・おひな様と同時にかわいらしい桃の花を保育室にかざり  
枝にすぐついている所、色の美しさ、形のかわいらしさ  
梅との比較等話合つてよく観察する。

○れんぎよ

・桃の花と一緒にさす花として花の形、色等観察する。

○種子まき

・春も近づいて来るので春夏になつて咲く花の種子まきを  
する。  
・暖かい目をよつて子供達にも土を入れたり腐葉土を入れ  
たりする、手伝をさせる。

○水栽培の花

△  
曲の例

・仲よし(下ミン) 下ミン 下ドレレミミレ……)

○おひなさま

・年少と同じく幼稚園のおひなさまを皆でみながら話合う  
が、同時に絵本等でおひなさまの種類や昔のおひな様等  
もしらせておきたい。  
・他は年少の時と同じ

○桃の花

・年少と同じ。  
・お画かき、切紙しても一つの観察になる。

○れんぎよ

・年少と同じ。

○ねこやなぎ

・花のおもしろさ、色、形、感触等を観察させたい。

○水栽培の花

・年少と同じ。

○春分

・年少と同じ。

<p>健康 習慣</p>	<p>よき 習慣</p>
<p>○三月の身長、体重の測定</p> <p>○仕事する時は姿勢をよくしていたしましょう。</p>	<p>・暮、十一月頃より水栽培していたヒヤシンス、クロッカス、水仙等が花をつけはじめた。長い間根の出る事や出方等瓶でながめて来たので、このようにして美しい花が同じように咲く事を皆でみたい。</p> <p>○春分</p> <p>・これからだん／＼あたたかくなる事、御先祖のおまいりをする事を簡単に話しておく。</p> <p>○仕事をする時は道具箱等をきちんとおいて仕事致しましょう。</p> <p>○仕事のすんだ後は紙屑をみて必ずきれいに仕末いたしましょう。</p> <p>○下駄箱や引出しとりにゆく時等、前にお友達がいたらその方がすんでからいたしましょう。</p> <p>○自分の名前をよばれたときはいつでもどんな時でも大きい声でお返事致しましょう。</p>
<p>○三月の身長体重測定。</p> <p>○健康診断（内科、眼科、歯科）</p> <p>これは出来るならば小学校入学の前に一度健康診断して眼等わるい人は入学までに治療する等がのぞましいと思</p>	<p>○幼稚園（自分達の部屋、遊び室、庭）</p> <p>・卒業も近い日、話合いながら幼稚園というものをもう一度皆と観察して思出の一つに加える。</p> <p>○名前をよばれた時の返事は年少と同じ。</p> <p>○自分の言うべき時はぐず／＼しないではずきり返事やお話致しましょう。</p> <p>○下駄箱や引出し等の事も年少と同じ。</p> <p>○帳面等は、一枚一枚丁寧につかい、とばしたり、あちらこちらにかかないようにいたしましょう。</p> <p>○自分自分の引出しは自分で片づけましょう。</p> <p>○卒業式のおけいこ、話合つて約束する。</p>

## 三月の保育所

鈴木とく

ひな祭がすむと、何となく気忙しく、嬉しさと、侘しさとごちやぐくした感慨が往來する保育の日が続き、年度を省ての深い反省と新年度への計画を構成する暇もなく、するすると仕事が続いてしまふ月です。

三月の最後の週は、殊の他、保母と云う者にとつては、各自が各様の工夫で、一陽采福の新鮮さをとりもどさなければ、新しく、福祉にかける幼児を迎える、心の態勢が整わずに、疲労感のみで過ぎ

<p>行事</p> <p>○おひなまつり</p> <p>○春分</p> <p>○卒業式</p> <p>終業式</p>	<p>う。</p> <p>○身体検査書を家庭に</p> <p>幼稚園での発育をしらせるため今まで報告はしていたであろが書類として持たせたい。</p> <p>○年少に同じ。</p>
--	---

てしまふ事でしょう。

三月の保育を、概略週でわけてみますと、ひな祭についての計画と保育実施は、二月の四週目にすべきで、三日は、そのおまつりの催だけですぎますから、三日以後の、第一週目の残りの日と、第二週は、

(1) 小学校に就学する幼児が、年下の幼児の為に残す、記念の製作(共同製作)の計画が立ちます。

(2) 幼児としての保育所生活の最後を楽しむ「集り」の計画をすめ、

(3) どの年齢のクラスも、夫々に、一年間の製作、その他、発達のあとをしのぶものを、美しく装る為に、幼児自身で、或は保母の手を借りて、仕上げを終わります。

第三週は、

四月就学する幼児の為の、祝賀式を行う用意や、練習に過し、又、この週の終る頃に、この式を催す様になる所もありますし、う。

第四週から月末迄

(1)第一週(2)の「集り」の実施や、これを兼ねてのピクニックの実施

(2)新しく迎えるお友達のために、又、一年上のクラスになつた新しい生活を始める為に、保母と一緒に、お部屋の模様替えや、いろいろの準備をしましょう。

保育所全体として、ざつとこんな週のメモが出来ましたら、今度は、各年令で考えてみましょう。

## 〇三才

(或は、三才四、五ヶ月迄)

乳児としての年齢は、三才になつたとたんに終わりますが、さて生活的には、幼児の年少組に、そのまゝ、すぐ編入出来る状態にはありません。保母の側にも、幼児の側にも無理な状態が起りがちなので十一月、十二月生れで満三才になつた者は大体、そのまゝ、冬を乳児部で過ごされた方がよいと思いますが、四月に、新入の年少組と、この人達が、一緒になつたのでは、保母の日々が思いやられます。

それで、一ヶ月早く、年少組の中でも一年、年少組に残る者と、乳児部から上るものとで、三月に、年少組を編成してしまふか、今迄の年少組に、入れてしまふかする方法をとります。

大体の生活習慣の基礎は、この様に、するものだと云う程度について

ている筈ですから、沢山の幼児の中で、圧倒されない様に、半日幼児、半日乳児と云つた様な生活から、だんだんと幼児部の生活時間を長くして行つたらよいと思ひます。年少組の保母は、負担が多くなりますから、園長、主任保母、その他の方が、助力する必要があります。

保育の内容は、決して年少組と同一のものであつてはいけません。むしろ、自然に、幼児の生活に慣れさせて行くと言ふ方針だけで、幼児部の団体生活のきまりや、もの、あり場所等を覚えて行く程度でよいと思ひます。

話す、歌う、描く、切る、こねる(粘土等)その他簡単なリズム表現(手をたたくとか、トン トン と足をふむとか)や、とぶ、かける、引つばる等の運動等、色々と経験は豊富にもつていても、まだ、言葉や、足どりがあらず様に、ヨチヨチの域をすこしぬけ出した丈の事ですから、その事を心にとめて、他の幼児の仲間に入れてあげる必要があります。第二週の祝賀式の練習等、あまり無限にしない様にしましょう。

## 〇四、五才児

二月に計画した種々の調査が、出来なければ、この月に持ち越される事になりますが、この月は、主題を持ち、各内容に細かくわけて保育を遂行するには、何か忙しい月の様に経験しました。むしろ、一年間の思い出風に、種々な過去の経験内容を、自分で生かして、遊びを自ら発展させて行く方向をとつた方が、様に思ひます。又、二月の調査が、持ち越されたとしても、なか／＼出来る月で

はないので、三月末から、四月初めにかけて行う様、思い切つてしまつた方がいゝと思います。

年少組は、まだ、各自の自由な選択による遊びが、主体となりませんが、全員同じものに向うことや、或時間我慢する事等を、はつきり自覚させる様な、保育の体系を、時々とる必要があると思ひます。内容となるものはその保育所に依じて違いますから、個々には申せませんが、作る事、きくこと、等、よいと思ひます。所謂、全員の一斉保育の経験させることです。

中組は、就学児のお祝いと、おなごりをかねてする「集り」の中心になる様、はじめての経験させたらよいと思ひます。

どんな風に遊ぶかは、その園での種々なしきたりや、特別な趣向があると思ひますが、この年令と、それを助ける年少組とが、無理なく出来て、保母も一日、楽しく打とけて遊びすごせるものでありたいと思ひます。

記念の製作を見さんや姉さんに贈らせるのもいゝ、とは思ひますが一日なんだか嬉しくて、何か心の底に残るのではないか（之は保母の一人よがりかもしれませんが）と思う様な遊び方、そんなことを工夫してみたいものだと思います。

年長組になる自覚は、事毎に、口を酔つぱくして云う必要はないと思ひます。ことに、何か失敗をたしなめるとか、何かをさせる為の方便として、「もうすぐ一番上の組になるんじゃないの」と云う言葉が出て来すぎるのを、我慢して、保育したいものと思ひます。

## ○就学児

三月の末迄、保育案回りの事を庶二無二遂行して、一つでも余計何かを覚えさせようと云う保育には反対ですし、又、出来ない事ではないかと思ひます。

各週の計画メモ通りを、のんびりと、子供達と相談の上で実行して行こうとする事なら、うまくゆかない場合が多い様です。

記念に残す製作等も、一組が三十人足らずでしたら、男女にわけ、二種類のものを、共同製作させる事も可能でしょうが、一組六十人近く等云う所は、考える丈でも、保母はおそろしくなるか、無理にすれば、方法的には記念品の強制になりかねない事でしょう。

たとえ着物をきない人形や、素朴な、まないた、食卓等でも、下の組の子供達には、うれしい贈物になる事でしょう。

お祝いの式の練習は、入学式や、その他の学校での儀式の経験にもなる事ですから、させてかまわないと思ひます。心があらたまれば、形もあらたまるとえを、私は、幼児に経験させてよいと思ひます。

式の時は、きちんとして、静かにしていた方が、皆で気持がよいと云う風に。けれど、この緊張を、長い時間や、余り度々強い事は好ましくありません。

就学を祝う式は、最後まで格式ばつたものとせず、あくまでお祝いらしく、楽しく、その中に一瞬式らしく、大人も子供の様にほぐれて、就学にはなむけする気持を十分に繰り拡げられる式の演出を、幼児の為に考へてあげたいと思ひます。現在は、一保母で、意の如くならずとも、もし主任、園長の地位になつた時は、この様に幼児の式をはこびたいと夢想しておきましょう。

就学祝いのお式がすんでも、明日入学すると云う日迄、忸くお母さんの子供は、保育所で昼間の家です。いろ／＼な学校への準備はお母さんがするとして、心の準備は、殆ど、保育所が受持ちです。残る一週間は、ゆつくりと、学校の庭へ遊びに行つたり、去年上つた組のお友達のお話をしたり等して、家庭にいと連われない気分を十分味わわせたいものです。

出席は少くなると思いますが、ならない事が、本来の保育所なのだとして、もう気持ちの上で刻んでおきましょう。

新しく入所する、年令の小さいお友達を思つて、お部屋や、積木や、三輪車や、箱等を綺麗にしておいてあげるやさしい気持ちを、この最後の週に、次の年長組になるお友達をたすけ、保母に手伝いながら、充して行く様に保母が計らいましょ。

### ○生活習慣と健康について

日常の生活習慣については、もう項目をとる必要はなく、荒削りについた習慣を、十分に、よく、忘れないでする様に、生活をと、のえてあげる心配と、自分からの工夫で、もつと気持ちよい状態に気づく様にしてあげたいと思います。

とちこめられた冬から、漸々外あそびに、陽の温かさを求めて庭へ出る回数も自然と多くなる事でしょうが、小さい人達程、多く外気と日光浴を心がけましょ。

春先に、風の吹く日が多い地方は、埃で、眼をわるくしたり、土いちりの手を十分に洗はなかつたり等で、急性血膜炎が、ひろがる事があります。手洗いと、洗顔と、手拭の清潔に十分注意いたしま

しよ。

その他、特別のこと、しては、式の時の態度とか、お別れ会の時他のお友達にいやがらせや、迷惑をかけない様、遊び方の約束を守る等ありましょが、一年間の生活は、口やかましく云う程の事も無い様に、幼児を生長させている筈です。特別な幼児は、又、別に原因や、扱い方を考えて行き、そうした時に、皆が不快にならぬ様特別な心づかいをしてあげましょ。(之は、たゞ叱つたり、注意したり、たしなめたりする事ではありませんから、お間違ひなく)

### ○遊びについて

季節の歌や、踊りや、リズム遊びは、よい資料が、沢山出ましたから、その中から、自分の受持つ幼児に適したものを、他の人の案を真似ないで、選択し、それを実施して、結果を反省するくせをつけましょ。

遊びに際して、保育所向、と限られた材料のみをたよりにしないで、あらゆる材料が、幼児の心の発達を助けるものと考えて、使うための困難を克服させたり、工夫させたりする様、提供してほしいものです。新しいま、事は、お許しを得てから、壁には手をふれるな、廊下で遊ぶと汚れるから(と云つて庭は狭い)等、子供の為に設備をと、のえたのか、誰かにみせる為に、保育用具を揃えたのかわからなくなる様な保育は、保育所には、あつてならぬ事、経営者の苦心はくみとりながら、幼児の遊び方に注意すると共に、保育所のもものは、すべて、幼児の福祉の為のものとの考へ方をす、めて遊びを計画したいと思ひます。

この意味で、大人の使う大工道具も、縫針も、大きいはさみも、庖丁も、細心の注意をむけながらも、そしらぬ顔で使わせたいと思います。

お別れ会の遊びが、家庭への保育の示威ではなく、子供同志の楽しい一日であるべきだと私は考えています。学芸会式に催して、色々と出演する事が、それを期待したのもなくとも、(?)保育園の財政を豊にする方策になつてしまつたり等、絶対ない様に、遊び会と称するものがなければ、親が保育所を理解し、協力しない等と云う考えを、幼稚園教育や、保育所保育の中から、ふんわりと閉め出す保育のし方は、情緒豊かな教育熱心な、創造と自重性にとむ若い保母さんのなすべき仕事ではないかと思ひます。

材料をいろいろ工夫し、一年間の経験を傾けて、打つたり、切つたり、縫つたり、鋸をひいたり、塗りあげたりして出来るものを遊びの計画の中にとり入れ、それを利用して一日の幼児パーティー、幼児好み祝まつり風景は浮ばないでしょうか。私は、三回の就学児のお別れの集りの中、二回とも、お母さんにみせるためのものではない一日を計画して、幼児も保母も共に楽しみ名残を惜しんだ、経験をしました。その事は、事前か事後は、必ず家庭連絡をして、しらせておきます。

細々と、やり方を教えてもらわなければ、何事も計画出来ない保母ではなく、一九五三年度は、ヒントを得て自分流に先計画してみる事をお願いして、今年度の「遊び」の考え方を終りにしたいと思います。

## ○家庭連絡について

時折の家庭連絡は、集りをもたない母親指導である様、一寸した連絡にも、幼児についての考え方の一端を記しておきましょう。

○ひな祭と一緒に、三月の誕生会をする事

○就学祝賀式の通知

その日の時間や、いろいろな注意事項

○お別れの集りについて保育所の考え方と、その催し方について。

## ○その他

この月に、保護者を催して、一月三月或は一年を通して子供さんの育ち振りを、お母様方にしらせ懇談する時間をもちたいものです。

年長組は入学を控えた母親の気持をくんで、出来れば、再度、小学校の先生において願つて、懇談会をひらき、保育所を経て入学した幼児が、何となく、気ざらいされない様に、お互いの理解を深める様話し合いをする事も計画したいと思ひます。

開園三年の記念会をしたいから、来て呉れないかというK氏の案内である。

「もう三年になりますかねえ。どうですか、保育の実際の方は……」

「相変らずですが、若い先生達が、よくやつていて呉れますので……」

この老園長が、都内の古い公立小学校の校長を停年で退いて、郊外に幼稚園を開きたいからと相談に来られたのは、三年前であつた。そのとき、私

には保育の実際は何も出来ませんが、という謙虚な言葉についで、きよの会話である。

「私の毎日の仕事は、庭の掃除です。子どもはいろんなものを落すものですなえ。ボタンだのビンだの、拾つておいては、あすの朝やるのですが、掃除をしているときも、お早うくと、子供たちが、そばへ寄つて来るので、懇意になります」

「子供は先生のことを何んといふますか」

「園長先生です。——子供はかわいいで

すね」

「こないだも、一人の子が、じつと私の顔を見ていましたが、園長さんの頭には、なぜ毛が無いの、あした、うちのおとうさんに貰つて来てあげようか、というんですハハハ」

「ハハハ。大した好意ですな」

ホーム  
キンダーガルテン  
倉橋生

記念会の祝いの席で、私はPTAの人達に、アメリカの最近のホームルーム、キンダーガルテンの傾向の話をした。

を車で送られたN大学附属幼稚園の園長さんと、来年の開園二十五年の記念式までに完成されようとしていられる多くの新設備の研究について、次ぎから次ぎと話あつたことも勿論である。どつちも理想である。

X X X

### 保育應答研究会

倉橋先生を中心に、毎回御熱心な多数の方々の御参加により、終始活潑な討論と、和やかな雰囲気、盛會を得て居ります。

一月〜四月迄は、種々の都合上、勝手乍ら、休会させていただきます。

フレーベル館内

保育應答研究会係

幼児の教育 第五巻 第三号

定価 金五十円

昭和二十八年三月二十日発行

東京都中野区千光前町一〇

編集兼 倉橋 惣三  
発行者

東京都文京区大塚町三十五

発行所 日本幼稚園協会

印刷所 東京都板橋区志村町五番地  
凸版印刷株式会社

発売所 東京都千代田区神田小川町二ノ五  
株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番  
C 本館御購読について注文中迄その他はすべて発売所フレーベル館願います

お茶の水女子大学名誉教授

近 倉橋惣三先生著

### 幼稚園眞諦

B 6 一四二頁 予價一八〇円

久しく絶版になつておりました、「幼稚園眞諦」を改訂復刊いたしました。

幼稚園保育の、眞の在り方を、平明な説き方によつて、講じられたもので幼稚園の理解と、再考究とのために、必読の書であります。

副島ハマ先生著

### 折紙教本

B 6 上製 二六四頁 定價二五〇円

品切の為大変御迷惑をおかけしておりました折紙教本がこのたび新装成つて出来上りました。御用命下さいますよう。古來我が国独特の優美な手芸として幼児に親しまれてきた折紙を指導されるには絶好の図書として広く御推薦致します。

株式会社 フレーベル館  
發行所 東京都千代田区神田小川町2ノ5

増子とし先生編著

### 保育のための音楽カリキュラム(上・下巻)

B 5 上製 一巻(一四四頁) 二巻(一四四頁) 定価 各四〇〇円

従来、歌とおどりが、別々のものとして取扱われる傾きがありました。本書は両者の密接不離のつながりに重きをおいて、有機的立体的結合を主眼として、カリキュラムを組んであります。すなわち、一つの教材において運動のリズム、音楽のリズムその他を多角的に取扱つている点に本書の特色があります。

賀来琢磨先生編著

### 実用保育遊戯動きのリズム (第二集)

B 5 上製 七頁 定価二〇〇円

先に発行して大変皆様方の御好評をいただきました賀来先生の実用保育遊戯の第二集です。賀来先生はおなじみの通りキンドナーブックで振付を担当されている斯界の権威です。

東京学芸大学附属幼稚園教諭

安藤寿美江 先生共著

東京学芸大学附属小学校教諭

渡辺 茂 先生共著

### リズムカル表現あそび

B 5 上製 二六頁 定価 三〇〇円

学芸大学附属において直接保育に当たられている岡先生が、お話し、劇あそび、ごっこあそび、音楽リズムを綜合一体として御考案なさつたものです。一ヶ月に一ツづつ一年十二ヶ月分、すべて学芸大学で実際保育に用いて大きな成果を納めた定評のあるもので御座います。

4 月 号 予 告

観  
察

# キンダーブック

繪  
本

KINDER-BOOK

第 8 集

【おもしろいな】

第 1 編



☆お子さま方の感情と知識の  
成育のために古く広く好評の高い本☆

A 4 判・16 頁・月一回発行  
解 説 付  
定 価 45 円・送 料 8 円

「おもしろいな」

子供も大人も、おもしろいな、ということに、身も心も、いきおいづくものです。殊に、子供の生活は、それに向つて伸びに伸びる、といつても過言ではありません。

春、桜の花の咲き匂う幼稚園、保育園へ、喜びの胸をふくらませてくる子供達、何という理窟なしに、新しくできたお友達と、おもしろいな、たのしいな、と、遊ぶ子供達です。

発 行 所

東京都千代田区神田  
小川町二丁目五番地

株式  
会社

フ レ ー ベ ル 館

東京座口替  
一六四〇番